

#metahash
CONCORDIA RES PARVAE CRESCUNT



ホワイトペ ーパー

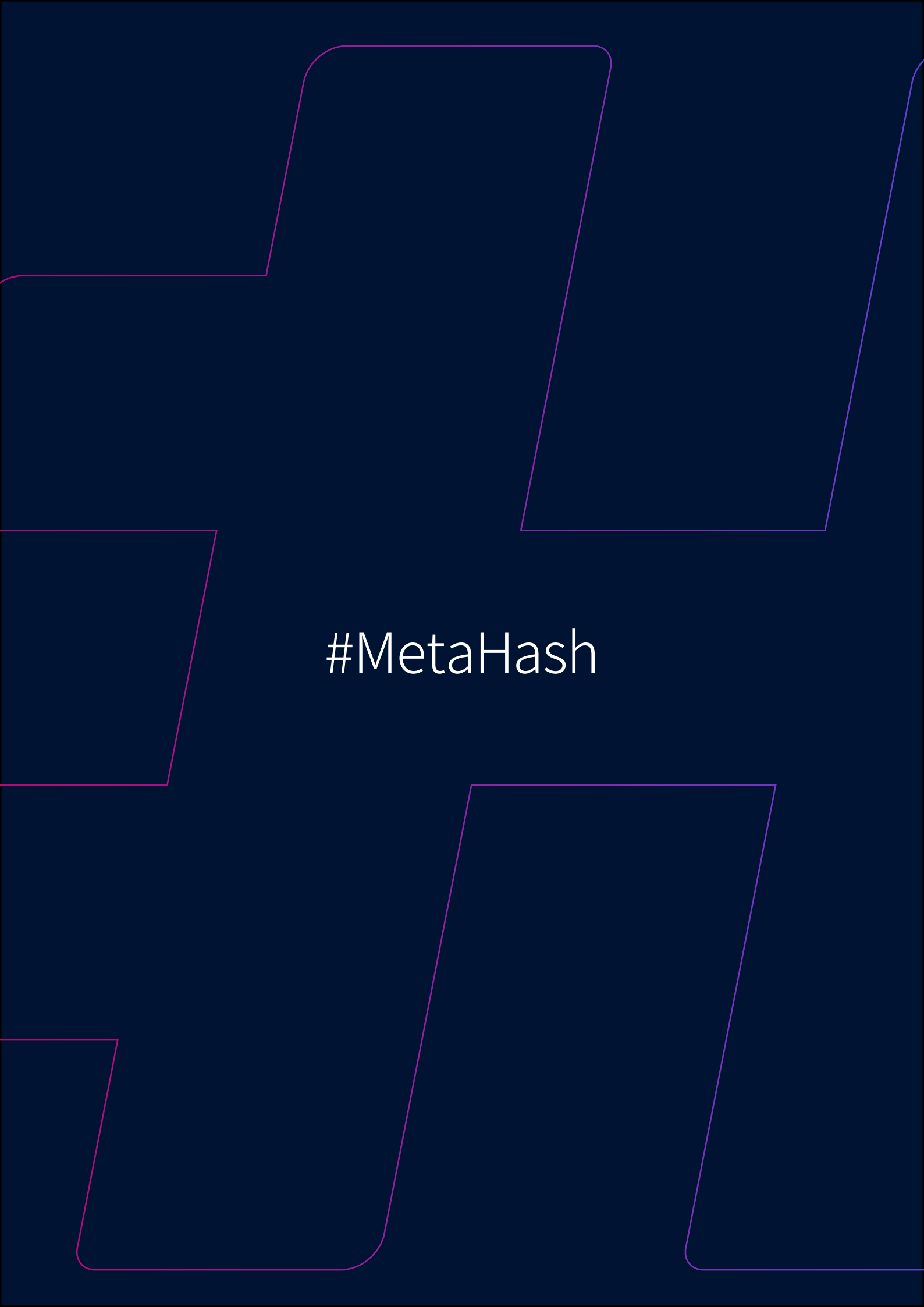


MetaHash AG,
Gartenstrasse 6, 6300 Zug
Switzerland

Version: 6.9
Last edit: 2018/07/26

目次

#MetaHash	4
目標と目的	5
問題とソリューション	6
#MetaHash構造	7
#TraceChain	9
主な強み	9
#TraceChainが既存のプロジェクトの中で際立つ理由	12
速くて安全な動作	13
仕組み	14
#MetaApps	20
自己融資型アプリ	21
#MetaHashチームが開発したアプリ	22
#MetaAppsにおける検閲	23
#MetaGate	26
#MetaHashCoin (#MHC)	28
財務モデル	29
マイニング	32
年ごとの#MetaHashCoins発行割合	34
法的意見	35
#MetaHashネットワークの投票機能	39
ロードマップ	42
法的アドバイザー	45
当社のチーム	48
用語集	51



#MetaHash



#MetaHash は世界で最も速く 最も安全な#TraceChain プロトコルの仮想通貨

1日 **50億** 件以上の取引処理検証速
度は **3秒以内**

#MetaApps

スマートコントラクト
の置き換え

Solidity、PHP、C++などのプログラミング言語で書かれた一般的なWebサービスのよう、リアルタイムで実行される分散型アプリケーション。

#MetaGate

分散型インターネットへの入口

パソコンに過負荷をかけないマルチアセットウォレット。
分散型アプリのディレクトリとブラウザ。

#MetaHashネットワークのリソース容量が大きくなる
分、無限に拡張可能

目標と目的

#MetaHashは、デジタル資産取引の分散型ネットワーク、そしてリアルタイムで動く分散型アプリの構築プラットフォーム

2017年、仮想通貨の人気は、数千もの異なる規模のブロックチェーンプロジェクトを生み、注目を集めました。ですが、これらのプロジェクトの大半の成長は、既存のブロックチェーン、オペレーター、ネットワークの技術能力に制限されていました。

ブロックチェーンネットワークの速度の遅さと閉鎖的な性質、相互作用の難しさは、概して、この技術の開発を遅らせる深刻な問題です。#MetaHashは、未来のブロックチェーンシステムを単一の分散型ネットワークに統合し、ひとつひとつの取引の記録を可能にする、一つのソリューションとなるよう、設計されています。

自己規制型#MetaHashネットワークは、実際のところ、本格的な分散型インターネットの分岐の礎を築いています。一旦立ち上がり、

ユーザーの公開投票¹や#MetaHashCoins²所有者に管理されれば、個別の製作者に左右されることはなくなります。

完全な分散型インターネットは、大企業の管理から解放します。プロジェクト管理はエンドユーザーの手に委ねられます。

オープンソース³コードで動く分散型プロジェクトの重要な特徴とは、ユーザーの求める方法で構築されている点です。プロジェクトは、市場とユーザーの両方に害を及ぼす限られた利害関係者集団の利益を最大化するというよりも、ユーザーのために作成されています。



#MetaHashプラットフォームはあらゆるプロジェクトを完全に分散します。数千のプロジェクトが現在、分散化を必要としています。既存のブロックチェーンオペレーターのスピードと能力は、これらのニーズを満たすには十分ではありません。

#MetaHashは以下の構築を可能に

- 一般的なWebサービスやアプリのようにリアルタイムで動作し、ブロックチェーンネットワークおよび一般的なインターネットの両方でイベントに対応できる、分散型アプリケーション。
- #TraceChainプロトコルでも動作するメインの#MetaHashネットワークで保護された独立したサブチェーン。数千もの#MetaAppsが、メインのネットワークに過負荷をかけることなく、また他のアプリを遅くすることなく、コスト効率良く動作するよう、これらのサブチェーンはつくられています。多くのアプリで、必要なデータの転送を可能にする、独立した、コスト効率の良い、安全なチェーンを構築するソリューションが待たれています。
- ネットワーク内で共有し、他のネットワークのトークン（デジタル資産）に変換するための、#MetaHashネットワークのトークン形式のデジタル資産。別のブロックチェーンシステム（ETH、ERC20、Bitcoin）のどのような資産でも、#MetaHashCoinsに変換できます。

インターネットの未来は、相互作用し、相互に統合する、独立したネットワークの能力にかかっていると仮定し、#MetaHashはブロックチェーンの相互運用性のコンセプトをサポートしています。

¹ 公開投票とは、有権者が投票結果にアクセスし、参加ウォレットのIDとその決定を閲覧できることを意味します。

² #MetaHashCoin (#MHC) は、#MetaHashネットワークの国際通貨です。

³ オープンソースのプロジェクトにより、どんなユーザーでも、コードにアクセスし、そのコードを使用して、アプリの独自のバージョンを作成したり、現在のバージョンを改善したりできます。

問題とソリューション

仮想通貨の将来性を信じています。ですが、現在は、完璧にはほど遠い状態です。#MetaHashは、単一のプロジェクトで具現化される、未来のブロックチェーンの機会すべてです

変更項目	重要である理由	既存の仮想通貨	#MetaHash
一日の取引件数の大幅増	暗号通貨の実現を可能にする	1日200万件の取引	1日50億件以上の取引
無料の取引送信能力	少額取引での#MetaHash-Coin使用能力	マイナーへの報酬を含めて1回の取引につき最大80ドルさらには400ドル	ほとんどの取引でユーザーは無料。スパム取引からネットワークを保護するためネットワーク負荷が増大し料金が発生する
PoW (マイニング) からマルチPoS (マイニング) への移行	マイニングはネットワークの取引速度を制限しネットワーク保護には高価な資源を要する	数十億ドルもするハードウェアに依存し電力を無駄にしマイナーに数十億ドル払う	ノードとウォレットのある#MetaHashCoinsをマイニングすることで最も重要なリソースを提供し無駄を省く
ネットワークを妨害し得る「金銭攻撃」からネットワークを保護する	仮想通貨の時価総額の増大によりネットワークの操作をブロックしようとするハッカーが増える	すべての主要な仮想通貨の現在の資本の1%以下はその活動をブロックするのに十分	ウォレットによる追加的な検証手順によりハッカーがネットワークをブロックまたは破壊することはノードまたはコインの67%を所有していても無理である
取引承認のスピードアップ	取引のスピードアップは毎日の操作で技術を実装する能力に影響する	最初の承認に最低30秒で最終承認に最低1.5分	最初の承認に1秒ほとんどの取引の最終承認は3秒未満
資産の「トークン化」の組み込みメカニズムを実装する	ブロックチェーンネットワークのデジタル資産を交換する機能で特別なプログラミング技能のない人にも使えるようになる。これは社会への速やかな技術の導入に寄与する	現在最高のソリューションでも高度なプログラミング技能を持つ人にしかつくれずお金を失うことにもなりかねない。スマートコントラクト技術はプログラミングを知らない人に明確ではない	資産は他のネットワークの仮想通貨でもあってもプログラミングの知識なしに#MetaHashですぐに「トークン化」できる。トークン情報は簡単でわかりやすい

#MetaHash 構造

The #MetaHash ネットワークは4部構成

#TraceChain

速度の問題のソリューションは、ネットワークで信号をルーティングする自動自己学習型アルゴリズムに基づいています。1秒あたり50,000件（100メガビットチャネルの能力）の取引速度から始まり、ネットワークのコアを形成し、アプリ稼働に必要な追加的な#DataChainsの信頼性を高めながら、帯域幅の広いノードがネットワークに追加されます。

#MetaApps

#MetaHashネットワークに追加されたノードは、分散型アプリで使用されます。#MetaAppsのコアコードは、必要なリソースとネットワークに接続されたノードの所有者の財務的な動機に基づいて、アプリのコピーの場所を最適化します。開発者は#MetaAppsでアプリケーションを作成、公開でき、#MetaHashCoinの所有者は、すべてのネットワークメンバーの普遍的価値を反映しながら、承認の可否を公開投票を行うて決定します。

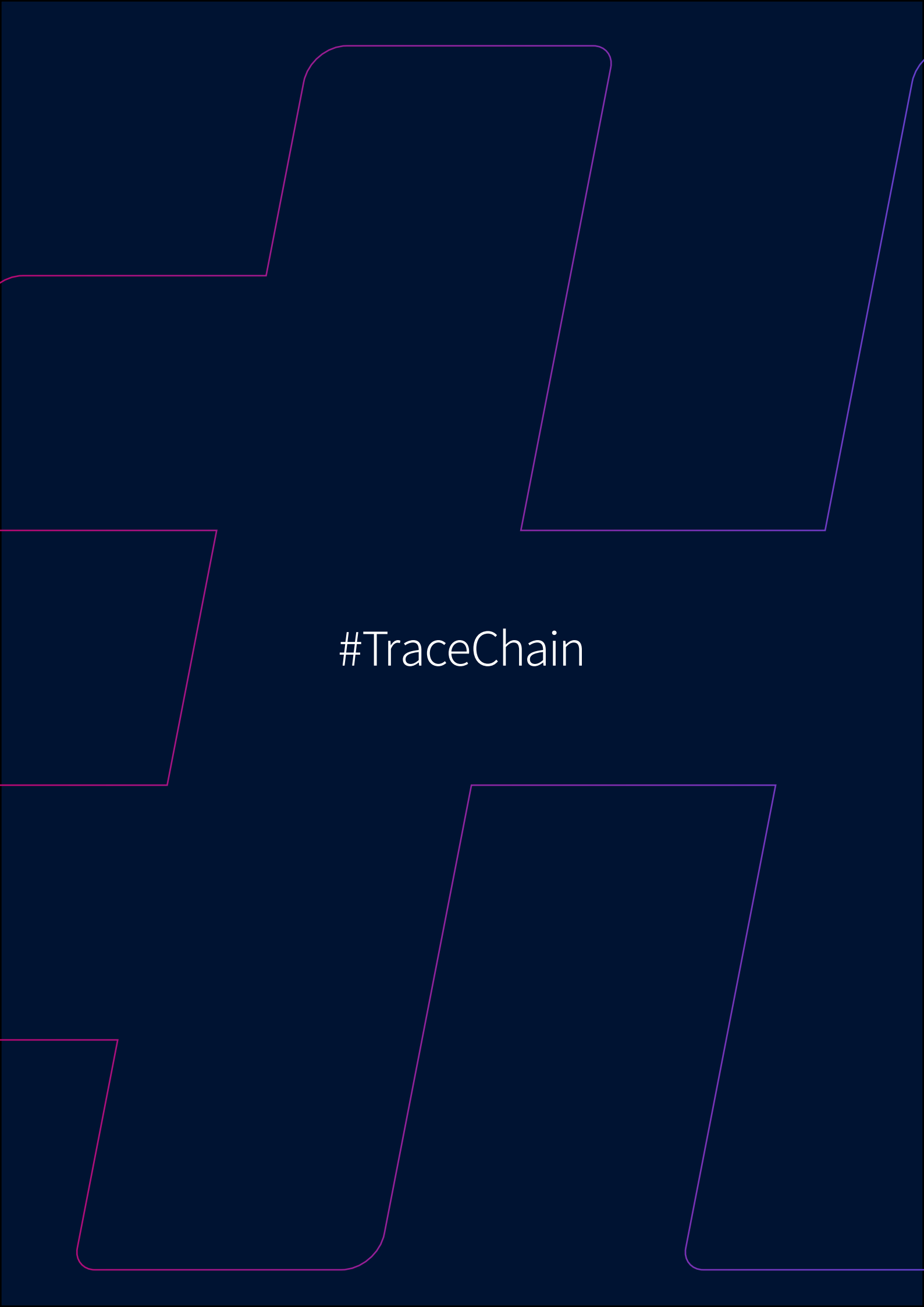
#MetaGate

これは、#TraceChainプロトコルを使用して#MetaApps、ネットワークと作動可能になるオープンソースのインターフェイスです。第三者開発者は、#MetaGateコードを使用し、#MetaAppsと#TraceChainまたはブロックチェーンの機能をさまざまなアプリやブラウザに埋め込むことができます。

#MetaHashCoin

The network's digital payment currency. It is used to ensure consensus, to pay for all network services and to control self-financing. Recognised by FINMA on July 3, 2018 as Utility token with payment function. #MHC tokens are qualified as payment means in accordance with the Anti-Money Laundering Act.

システムの4つの要素は、高いシステム負荷があっても、複雑な分散型アプリをリアルタイムモードで動かせるような、単一のシナジーソリューションを構成します。システムの技術的な複雑さは、ユーザーに優しいインターフェイスの背後に隠され、通常のユーザーのアクセスを可能にします



#TraceChain

#TraceChain

技術

#TraceChainは、#MetaHashネットワークの基礎になっている新しいインターネットプロトコルです。

#TraceChainは、ネットワークでの最適な信号伝搬の数学モデルを使用します。数千台のコンピュータの同期がネットワークに負荷をかけ、速度を遅くします。この問題を解決するために、#TraceChainは#TraceChain AIの数学アルゴリズムを頼っています。すべての信号は外側の半径からコアに届きます。信号は複数の強力なコアで同期し、ネットワークに戻ります。

同時に同期する必要があるパソコンが増えるほど、ネットワークにかかる負荷は強くなります。コアは静的ではなく、投票で常に変わります。性能の高いパソコンをネットワークに加えても、攻撃からネットワークを保護するようなコアに自動的に変わるわけではありません。コアのセグメントは完全に分散化され、信頼できるアルゴリズムと追加的な検証で保護されています。ネットワークのコアのセグメントのパフォーマンスは外側の半径から確認され保護されています。

すべての既存のブロックチェーンシステム（すでに利用可能となっているシステムと

開発中のシステム）は、非常に遅くて高額かまたは完全に分散化されていません。

主な強み

現在および見込まれる分散型ブロックチェーンシステムとの比較：

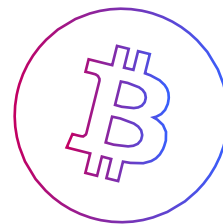
- 現代のブロックチェーンプロジェクトは、仮想通貨が技術の専門家、トレーダー、ブロックチェーン愛好家にしか使いこなせないことを示唆しています。仮想通貨は大衆には複雑でわかりにくいです。
- 今日、産業分野で使用できるような十分な速度の便利なブロックチェーンのソリューションになっている、既存のシステムまたは見込まれるシステムはありません。
- 速度、高い取引料金、複雑さは、#TraceChain¹プロトコルが対応しようとしている問題です。

¹ #TraceChainは、自動自己学習型信号ルーティングプロトコル。

以下は、現在市場で主導的地位にあるシステムの比較分析です。

ビットコイン

PoW（プルーフ・オブ・ワーク）は信頼性が高いですが、非常に高額なネットワーク保全保護メカニズムです。ビットコインの4つのマイニングプールは、ネットワークを完全に管理し、ビットコインの演算力の60%を構成します。これらの4つのプールは、競合する場合に有効と判断される最長のチェーンを形成します。



ブロックチェーンの同期プロセスは遅いノード問題で有名です。ネットワークは、そのノードが遅い限り、遅いです。ビットコインネットワークの大部分は、物理的に、電力の安い、インターネットの遅い（3Gがほとんど）場所に位置しています。

ビットコインのノードの多くの帯域幅はとても狭く、ブロックサイズ制限が1MBから4MBに高まると、ネットワークの大部分が切断されます。

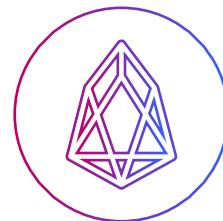
ビットコインの喫緊の問題は、コアリソースが、利害関係者ではない人の手に集中していることです。マイナーは、収入を最大化すること、電気代や機器のコストに充てるためにコインを現実通貨に交換することに関心を持っています。したがって、PoWマイナーはいつも、ブロックチェーンネットワークの利益に反する行動を取るのです。ブロックチェーンマイナーはいつでも、マイニング力を他のブロックチェーンのプラットフォームに向き変える可能性があります。

類似コードで構築されたビットコインの分岐とシステム

ビットコインの分岐とシステムは、通常、広い帯域幅と大きなブロックサイズを特徴としています。ビットコインには取引を保管するに十分な力がありますが、アプリの実行にはまだ不十分です。

EOS

EOSは、信頼性の高い、高速バンキングシステムですが、中央集権型です。20台のスーパーコンピュータがネットワークを管理し、最大の投票数を有しています。これらの上位20位のコンピュータは取引データを同期化し、すべての手数料を受け取っています。時に、手数料は投票の多さで選定されたさらなる1台のコンピュータに支払われます。



上位20位のサーバーは静的で、大量の承認コインを引き付け、また新しいサーバーを上位20位にあげることはほぼ不可能であるため、システムは高度に中央集権化されます。

ライトニング・ネットワーク

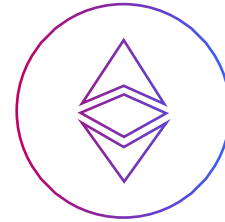
ライトニング・ネットワークは、複数の参加者の間でデータを転送する優れたコンセプトを備えています。参加者集団がその間で、1日にたくさん取引をしなければならない場合に、システムは良く機能します。集団の金銭は、参加者の多重署名ウォレットに保管されます。しかしながら、同じ参加者集団が何度もデータ交換をする必要はあまりないことから、このプラットフォームには使用制限があります。取引を集団外に移動させる必要がある場合、スピードアップすることなく、動作するネットワーク内の帯域幅に制限されます。



イーサリアム

イーサリアムは、PoWの優れた実現例ですが、多数の参加者間の直接同期と多くのPoWノードの低スループットにより、かなり遅いです。

このスマートコントラクトは、イーサリアムネットワークのイベントへの応答を可能にするため、価値の高いものですが、残念ながら、他には反応せず、リアルタイムアプリには適しません。



イーサリアム・プラズマ

これは、イーサリアムネットワークの帯域幅を広げる非常に優れたソリューションです。トークンとアプリデータの転送は、別々のブロックチェーンで行われ、PoWに残るメインのイーサリアムブロックチェーンのアンカーのある、PoSコンセンサスの原則に基づいています。これにより、イーサリアムネットワークのイベントに応答するだけのスマートコントラクトのパフォーマンスは、著しく向上します。ただ、メインのネットワークは遅いまま、平均的なユーザーが1週間の休止期間を置いても、パソコンへの完全なダウンロードを要する現在のチェーンの特大サイズがあってもなお、ブロックダウンロードスピードの遅さ（最大で数日かかる）により、ウォレットの使用ができません。軽いウォレットは代替ソリューションですが、それに関連するプロジェクトは資金不足であるため、使用することはリスクを高めます。

当社が認識している他のプロジェクトには、良い選択肢と考えるに十分な文書やコーディングがありません

ブロックチェーン比較表

	ビットコイン	イーサリアム	EOS	#MetaHash
取引承認時間	10分	15秒	5秒	3秒未満
1秒あたりの取引	最大12件	最大30件	1,000件～数百万件	50,000件～数百万件
分散化レベル	高	高	最低	高

#TraceChainが既存のプロジェクトの中で際立つ理由

大規模かつグローバルにデータをすばやく処理できる完全分散型の同期ネットワークの作成に、焦点を当てたプロジェクトを、見つけることができなかったため、#MetaHashを開発しました

#MetaHashは、次世代のブロックチェーンプラットフォームとして、すべての問題のソリューションを、ご提案します

- 完全分散化
十分に分散化されていないネットワークは信用できません。
- 完全同期化
高速かつ十分な帯域幅がネットワーク同期の低減を通じて達成された場合、ネットワークの部分間でデータを転送すると問題発生につながり、メリットに重くのしかかります。
- 3秒未満の取引速度
取引に時間が長くなるほど、システムの利便性が下がり、分散化アプリを完全な能力で実行することが難しくなります。
- 広い帯域幅
1秒あたりの取引件数は、ただの数字にとどまりません。広い帯域幅により、ネットワークで取引価格を低く抑え続けることができます。それは、特定の時間単位でより多くの取引を処理するのに十分なリソースがあるからです。
- 低価格
取引価格が下がるほど、金融取引情報や技術データを保管するプラットフォームに興味を持つ潜在的なユーザーが増えます。

現在のプロジェクトの多くは、明確で有益なアプリケーションの仕組みを備えていますが、市場のニーズを完全に満たすことができていません

速くて安全 な動作

#TraceChainは独立した
#DataChainsの構築に理想的なソリ
ューション

100,000件以上

の毎秒取引を各ノードで

驚きの速度で
#MetaHash は以下を行います。

- ブロックチェーンすべてのグローバルな取引を処理
- 1取引あたりのブロックチェーン史上最低価格に到達
- 分散型プロジェクトにブロックチェーンのデータ保管として適切な価格を提供
- イーサリアム ERC20デジタル資産（トークン）を#MHCに変換し、
#MetaHashネットワークに転送または変換して元に戻す
- ショップが#MetaHashデジタル資産で支払いを
即座に受け取れるようにする

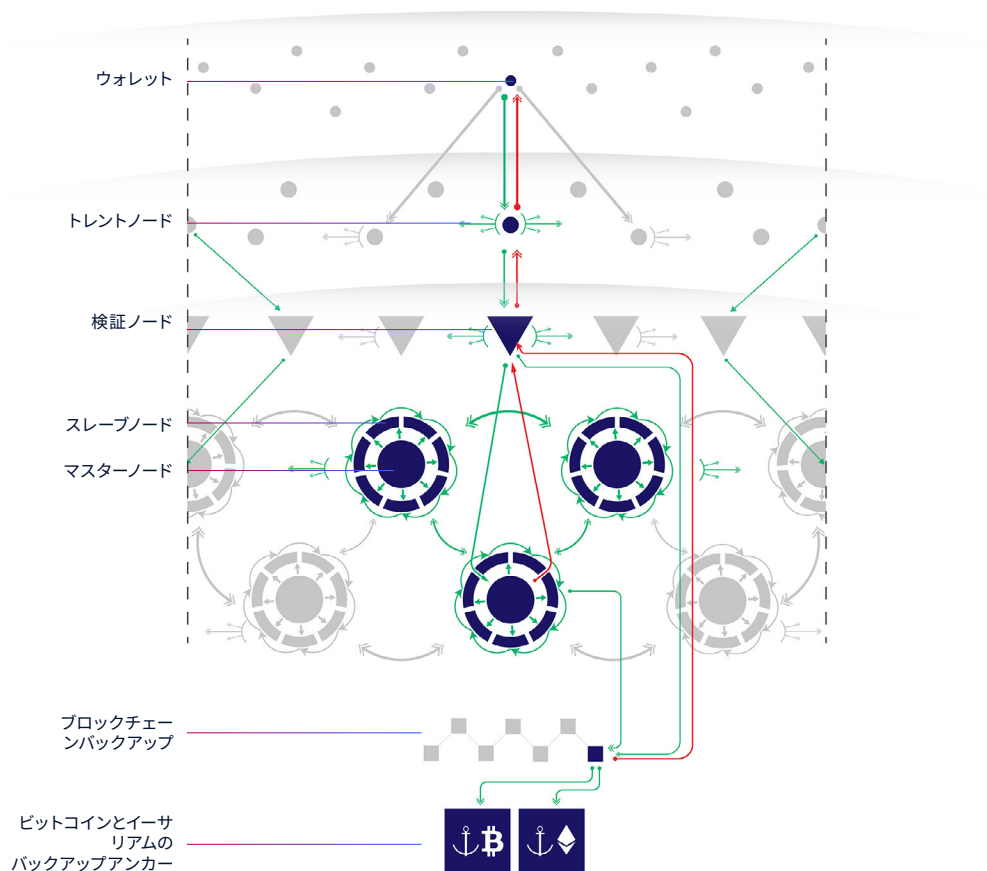
1日あたり50億件以上の取引

取引確認3秒未満

5段階の検証コンセンサス

ビットコインとイーサリアムネットワークに#MetaHashブ
ロックアンカー

仕組み



速度

- コアでの取引確認は最大3秒
- 1日50億件以上の取引
- 1秒あたり100,000件以上の取引を1ノードで対応
- ノードの役割とそのネットワークでの分布を定める機械学習アルゴリズム

信頼性

- 各取引は5種類のコンセンサスアルゴリズムで保護
- 予算数十億ドルでもネットワークの管理は不可能
- 巨大なマイニング工場を持つ支配的なプールの集団グループではなく、実際の人々の間で真の分散化

ブロックチェーン相互運用性

- #MetaHashから他のネットワークに直接転送
- 他のネットワークのデジタル資産（トークン）は#MetaHashネットワーク、さらにビットコイン、イーサリアム、ERC20でも使用可能
- どんな資産も#MetaHashCoinに変換可能
- #MetaHashCoins (#MHC) は、イーサリアムまたはWavesネットワークに転送可能で、鏡面化されたスマートコントラクトを通じて返送可能

迅速性につながった経緯

1

取引は、ピアノードでネットワーク全体に分散される

2

取引は外側の半径から始まり、最速ルートを使用してコアネットワークに入る

3

コアネットワークの最速ノードはノード間の取引を検証および同期化する

4

コアネットワークはウォレットの残金をネットワークに返送する

5

ブロックチェーンノードにはすべての #DataChains および #MetaHash ネットワークの取引の情報が含まれる

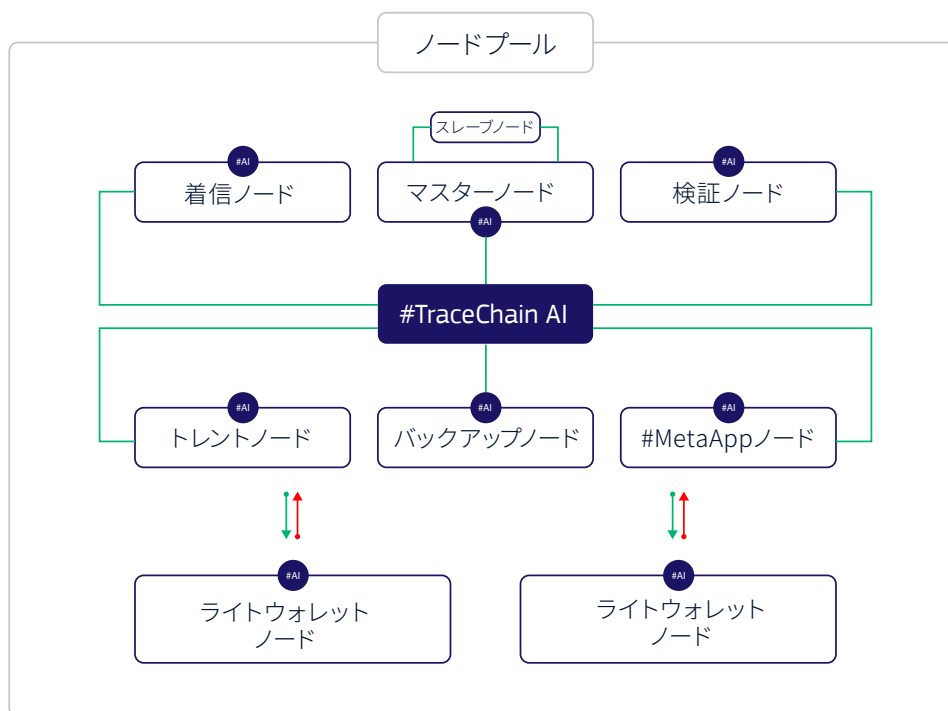
6

毎日、#MetaHash社に属するノードはビットコイン、イーサリアム、他のネットワークのアンカーを構築（最新ブロックからハッシュ）*

★ システムが攻撃された場合、これは一般投票を通じて緊急的にネットワークを復元するのに役立ちます。アンカーは、ネットワークメンバーの誰でも検証可能です。初期には、新しい技術に脆弱性が含まれる可能性があるため、この方法は後に除外される追加的なフェイルセーフです。

#MetaHash ネットワークに保管されているデータを変更するには、#MetaHash ネットワークへの成功裏の攻撃、追加的なブロックチェーンネットワークへの成功裏の攻撃が必要です

#TraceChain AI



#AI #TraceChain AI

試験機能

最適なTraceChain AIネットワークマップを作成するには、各ノードのパフォーマンスとノード間のデータ転送速度を知る必要があります。従って、#TraceChain AIは無作為にいくつかのノードを試験モードにして、情報を照合します。試験は、ノードが破損しても、要求された数字を上回るパフ

ォーマンスまたは速度を報告できないよう、試験中であることを判別できないよう、特別に設計されています。この情報は、相互作用の最後によりよく明かされるためです。

また、システムが通常動作状態にある際の分散型ネットワークの実際のノードパフォーマンスに関するデータを使用して、ノードのパフォーマンスを計算しているため、試験方法の不正確さを排除しています。

ノード信頼評価

総当たり攻撃に対する最良の防御は、攻撃の試みが失敗した後にノードをブロックすることです。これは、ノードの信頼性を評価するために当社が使用している方法です。ノードが取引を正しく処理しなかった場合、その信頼レベルはリセットされます。6カ月ほどの継続的活動の後、ノードは、99%の信頼値に到達することが可能です。ノード

がネットワークの破断や減速に使用された場合、累積信頼値は失われ、長い期間、完全なポテンシャルが活かせなくなります。さらに、信頼ノードは、他の種類のコンセンサスに必要な投票にも影響します。

#TraceChain AI

各ノードには、他のノードに割り当てるロールの投票コードが備わっています。投票の結果として、すべての利用可能なノードが、複数のネットワーク寿命の後続サイクルの役割を引き継ぎます

#TraceChain: ノードの役割

1. ピアノード

これらのノードは、ウォレットや外部サービスに対応します。dDos攻撃を含む、信号の受信と配信による外部の過負荷から、ネットワークの内部を保護します。同時に、破損の脅威から、ネットワークのコア部分を守ります。

2. マスターコアノードとスレーブコアノード

最も速く、最も信頼性の高いノードが、ネットワークのコアになります。最大の報酬を受け取り、コミットを形成します。スレーブノードはいつでも、マスターノードになり、対応する機能を果たし始める可能性があります。スレーブモードでは、マスターの作業の正しさを確認し、検証ノードの間の信号配信でその作業負荷を減らします

3. ブロックチェーンバックアップノード

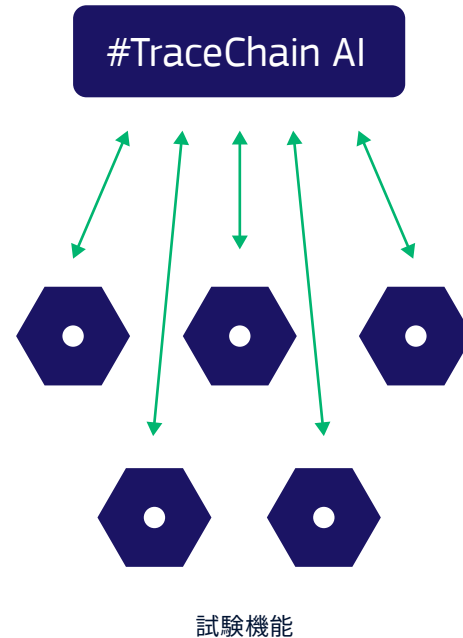
これらのノードは、ネットワークの完全性を検証し、コアの正常な機能を確認します。またブロックチェーンバックアップノードは、ネットワークのコアに確固たる攻撃があった場合に、投票手続きを行います。

4. 検証ノード

承認された取引は、マスターノードとスレーブノードの機能を検証し、ウォレットに配信するために、情報をピアノードに送り、ノードに送信されます。

5. プロキシノード

ほとんどのウォレットはデフォルトで、ネットワークコンセンサスを信頼するライトウォレットですが、ウォレットはフルウォレットになり、ネットワークを信頼せず、すべての取引を自己保管する決定を行う可能性があります。これは、良好なインターネット接続および大量データの保管に十分なディスクの空き領域を必要とする、高い負荷です。ウォレットはすべての取引を保管する必要はありません。最後のトリムに続いてまたは信頼されるフルノードのみとの作業に続いて、取引を保管することもできます。



6. #MetaApps ノード

スマートコントラクトや分散型アプリなどの多くのサービスには、作業を実施するために、広範なリソースが必要です。#TraceChainでは、取引とは無関係な作業の実施に個別の手数料がかかります。

7. 試験ノード

すべてのノードは、時折、試験モードになって、ノード速度および#TraceChain AIが使用するノード間のデータ処理速度に関する技術データを収集し、最適なネットワークマップを作成し、ロールを割り当てます。試験機能はノードの性能を定める唯一の機能ではありません。

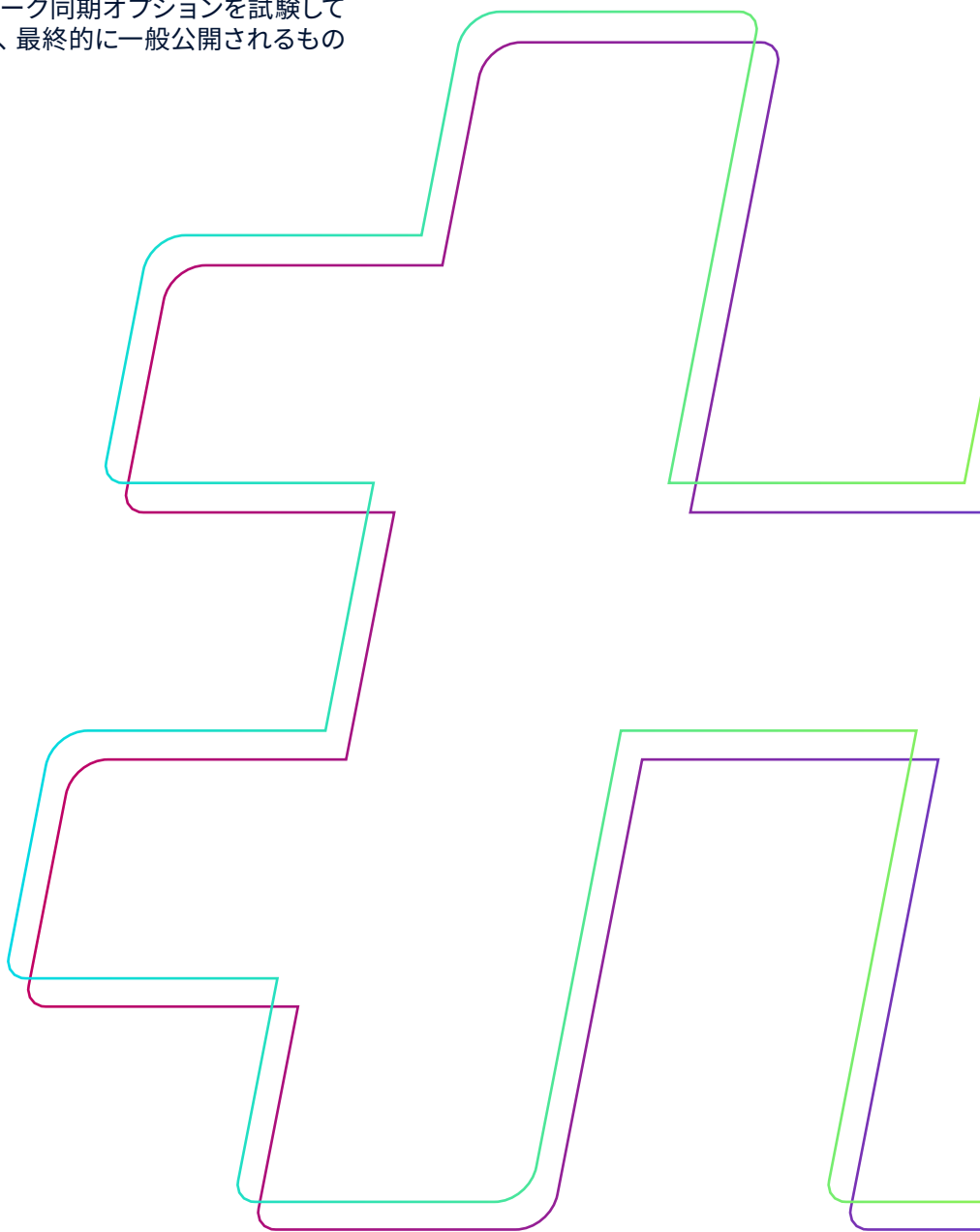
#TraceChain マルチコンセンサス

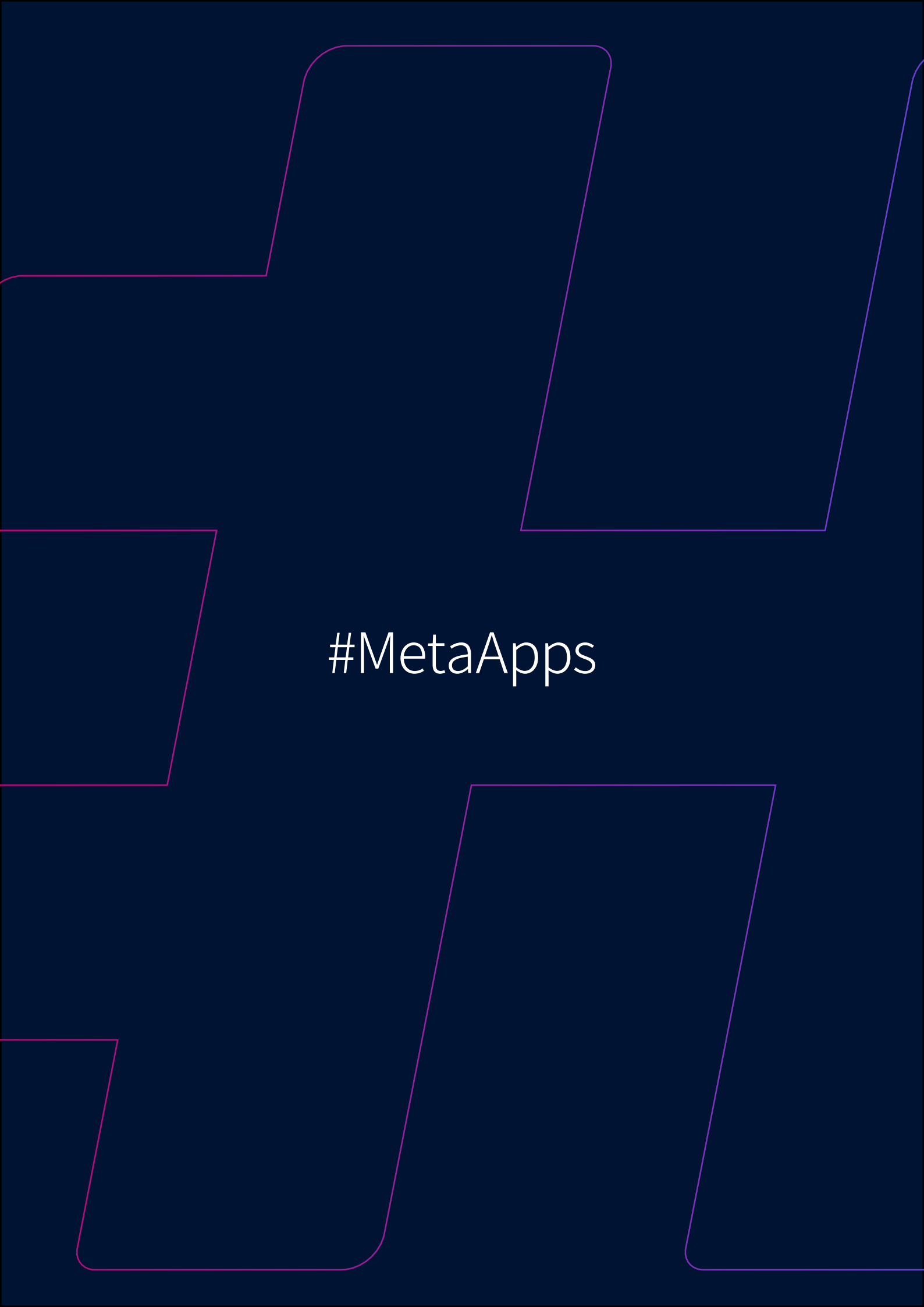
投票手続きを完了するために、それぞれの可能な役割のノードの67%が取引を検証する必要があります。マルチコンセンサスを使用することで、67%以上の#MHCの集中があっても、ネットワークの一部を完全に支配していても、ネットワークの支配の可能性を排除できます。さらに、PoSマルチコンセンサスは、リソースの大部分を占有する所有者だけでなく、すべてのネットワークメンバーを重要と見なします。67%とは、ぴったり67%のノードの必要性および充足性を証明する、数学的な裏付け値です。

#TraceChainは、multiPOS（マルチ投票プルーフオブステーク）の原則でサポートされた、ノードの役割でマルチコンセンサスの投票を使用

技術開発

この文書では、ICOラウンドAと同時に開始される分散型ネットワークの運用原理について説明します。現在のプロトコルの開発中に、無制限の取引（1秒あたり最大数百万件の取引）、遅延の低減、プロトコルセキュリティの強化など、代替ネットワーク同期オプションを試験しています。この点で、以下のバージョンは、最終的に一般公開されるものとは異なる可能性があります。



The background is a solid dark blue. It features several abstract geometric shapes outlined in thin lines. Some outlines are a vibrant pink, while others are a lighter, more muted purple. The shapes include rectangles, parallelograms, and trapezoids, some with rounded corners. They are arranged in a way that creates a sense of depth and movement, with some shapes appearing to overlap others.

#MetaApps

#MetaApps

リアルタイムアプリの分散型クラウド

高速、分散化、強い負荷への対処能力は、新しい分散型インターネットを形作ります

#MetaHashがあれば、任意のオペレーティングシステムで任意のプログラミング言語で書かれたどんなプログラムでも、分散型アプリになり、インターネットからのデータおよびブロックチェーンシステムからのデータのどちらとも作業できるようになります。

#MetaAppsは普通のウェブサイトやサービスとしてリアルタイムで動作しますが、分散化されており、デジタル資産（トークン）のユーザーや所有者が票を投じない限り、開発者さえ挙動を変えることはできません。

#MetaAppsはスマートコントラクトの進化版であり、分散化されたあらゆるサービスで使用可能です。永存可能でどこにも属さない独立したプログラムです。プログラミング通りに動作し、第三者が改ざんすることはできません。

開発者の誰でも任意の言語のコードから #MetaAppを作成可能

- プログラムとオペレーティングシステムの画像は、ネットワークにアップロードされ、多数のコンピュータで自動的に起動します。
- C++、PHP、Solidityなどのプログラミング言語で作成できます。あらゆるOSとの互換性があります。
- スマートコントラクトの機能性を完全にサポート。#MetaAppsはどんなブロックチェーンでも、インターネットのデータでも、動作します。

アプリの既製モジュール

#MetaHashネットワークには、新しいプロジェクトの開発を勢いづける、分散化モジュール配列が含まれます。

例えば、どのプロジェクトの開発者でも、

そのビットコインやイーサリアムの構文解析スクリプトを生成する代わりに、

既存の#MetaChainsサービスを使用できます。分散化データベース

を必要とするプロジェクトは、#MetaDataBaseを使えるようになります。

プロトコルの基本機能は、#MetaHashネットワークの基本コ

ンセンサスで保護された#MetaTokensとデータネットワークの生成

をサポートします。



#MetaApps

リアルタイムモードで動作

普通のウェブサービスやアプリと同じぐらい速い

GUI

普通のアプリやウェブページのような外観

プログラミング通りに動作

更新規則をすり抜けてアプリの挙動を変えることは誰にも不可能

自己融資型アプリケーション

#MetaAppのコピーが作動するパソコンの台数は、1日に生成される#MetaHashCoinsの金額およびそのリソースの支出で変わってきます。誰でも#MHCの引き落とし口座を充填することができます。または、アプリの収入の一定の割合がその口座に送金されます。

アプリ開発者の誰でも、その収入の一定割合をネットワークでの作業の援助に充てたり、さらなるアプリ開発の資金に充てたりするようなアプリをプログラミングできます。このモデルでは、アプリの開発チームを、プロジェクトのユーザーの一般投票で選定可能です。マーケティングの問題は他のサービスの必要性も、まとめて対処可能です。

上記の論理に沿って、次のソーシャルネットワークを作成することができます。

- #MHC保有者とプロジェクトのアクティブなユーザーの一般投票で管理される
- データとユーザーメッセージはアクセスされないように暗号化される
- 自己融資型である

#MetaHashプラットフォームを基礎とした分散自己融資型ソーシャルネットワークの例

- プロジェクトチームは、プロジェクトの開発に資金を提供するためにICOラウンドAを開始します。
- さまざまなプロジェクトノードの最終コードが、#MetaHashネットワークにアップロードされ、これらのノードのウォレットが資金を受け取る。ノードのコードは自動的に#MetaHashに展開。
- ユーザーの公開物は、#MetaHashデータネットワークで暗号化、保管される。「友達として追加」されたユーザーのみが解読でき、従って更新内容を閲覧できる。ユーザーのリストにのっている人だけが暗号解除のキーを入手でき、そのユーザーが掲載する現在と過去の更新情報を読むことができる。個人的なメッセージは、エンドツーエンドで暗号化され、公開保存されていても、受信者しか読むことができません。
- ICO後のプロジェクトの資金調達は、#MetaHashCoinsの広告販売を通じて、またはユーザー機能の「広告を無効化」を通じて、行われます。プロジェクトを支援するチームとプロジェクトのマーケティングチームは#MHCで支払いを受け、#MHCの一定額は、自動分散化交換サービスを通じて両替され、プロジェクトのノードのウォレットに入金されます。

このモデルは、根本的に新しい種類のプロジェクトと、それらの存在、立ち上げ方法をもたらします

この例は、あくまでもコンセプトですので、ご注意ください

このようなプロジェクトには詳細な計画が必要であり、このホワイトペーパーの枠組みの中では実施できません

#MetaHashチームが開発したアプリ

#MetaChains

人気の高いブロックチェーンプラットフォームすべての分散構文解析器。

#MetaAppsが任意のブロックチェーンシステムのイベントにすぐに対応できるように、分散構文解析器をリリースします。これにより、APIでさまざまなブロックチェーンプラットフォームのウォレットから残高情報と取引履歴を取得できるようになります。

アプリケーションはさまざまなブロックチェーンイベントに対応し、ネットワークノードに質問を送信することでデータの正確性を検証できるようになります。

#MetaToken

このアプリには以下が装備されています。

- #MHCをERC20デジタル資産などに自動トークン化
- デジタル資産の#MHCへの変換
- #MetaHash、ブロックチェーン、イーサリアムウォレットの間でデジタル資産を移動

デジタル資産のトークン化

ユーザーは、#MetaChainsアプリで提供されるデータを使用しながら、保護され、自動化された分散データ格納サービスの強みを活かしながら、好きなブロックチェーンネットワークのトークンを#MHCに交換し、#MetaHashで使うことができます。必要に応じて、元のブロックチェーンネットワークに資産を自動的に交換し、戻すことができます。この方法で、あらゆるデジタル資産（トークン）を#MetaTokenに換え、#MetaHashネットワークで使うことができます。

保護され、自動化された分散データ格納サービスは、#MetaHash社の監督のもとで製作されますが、データ格納料を資金源としません。#MetaHash社には属しません。

元のトークンの価値に等しいデジタル資産は、#MetaHashネットワーク内で作成されます。同時に、元の資産は、そのブロックチェーンプラットフォームで凍結されます。トークン化には#MetaHash資産を元のトークンに変換するという遡及効果があります

#MetaStorage

分散データ格納サービスにより、#MetaHashネットワークに格納された公開暗号化データ、このデータを使用するアプリで融資される個別のデータノードでも作業できます。

#MetaICO

このアプリにより、#MetaTokenインターフェイスを介してプログラミング言語の知識なしに、設定の組み合わせを使用しながら、#MetaHokCoinsをリリースできます。

#MHCの作成プロセスの簡素化に加えて、プロトコルのサポート、複数アプリでのコード検証による包括的な対ハッカー保護環境の整備は非常に重要です。

現在、すべてのICOでスマートコントラクトが使用されています。その結果を出し、理解するには、広いプログラミングの知識が必要です。#MetaICOは新しいICOモデルを提案しています。誰でも自由に、スマートコントラクトに類似したツールを使用して、ICOを実施する機会を得ることができます。#MetaICOのツールは簡単に使えるため、プログラミングの優れた技能のない人でも、使うことができます。

#MetaICOは、#MetaChainsアプリから受信したデータを使用して仮想通貨を受け入れ、#MetaHashCoinsをイーサリアムトークンや他のネットワークの他のERC20トークンに変換します。

#MetaICOアプリによって、さまざまなプロジェクトのデジタル資産（トークン）の保管やトークン取引が簡略化し、ICO投資家は#MetaHashネットワークだけでなく、あらゆるネットワークで

デジタル資産（トークン）を使用できるようになります

#MetaApps における検閲

ブロックできないまたは削除できないアプリのアイデアがどんなに素晴らしくとも、システムを悪用して他の人に危害を加えようとする人がいることを忘れてはなりません。

検閲を適用する必要はあります。ですがどんな検閲にするかは、個人ではなく、#MetaHashコミュニティが公開投票で決めます。

コンテンツ配置規則を決める際、#MetaHashコミュニティはすべての適用法を必ず考慮に入れます

アプリケーションのブロック

- アプリケーションをブロックするために、10,000,000投票コインたまったら、公開投票手続きが始まります。投票は1カ月間続きます。
- 100,000,000投票コインたまると、投票期間は1週間まで短縮されます。
- 500,000,000投票コインたまると、投票期間は24時間まで短縮されます。

数々の悪意のあるアプリケーションに対する防護対策として、アプリのアップロードで、アプリケーションの3カ月のホストに十分な預入金（10,000#MHC以上）を条件とします。この金額は一般投票で変わる場合があります。アプリケーションがブロックされたら、残りの預入金は凍結されます。

投票期間が終わるまでに、アプリケーションのブロックを支持する投票が67%集まれば、ブロックが実施されます。

アプリケーションの所有者は、異議を申し立て、アプリケーションのブロックを解除し、預入金を取り戻すこともできます。異議申し立ては、ブロックと同じ規則に従うもので、投票期間が終わるまでに、アプリケーションのブロック解除を支持する投票が67%集まれば、申し立ては受け入れられます。2度目の異議申し立ては、1度目の異議申し立ての1カ月後に行うことができます。異議を申し立てた人は、コミュニティのメンバーが指摘したブロックの原因を排除して、アプリケーションの修正版を提供することもあります。

The background is a solid dark blue. It is decorated with several abstract, overlapping geometric shapes outlined in a vibrant purple-pink color. These shapes include rectangles, parallelograms, and trapezoids, some with rounded corners. They are arranged in a way that creates a sense of depth and movement, with some shapes appearing to be in the foreground and others receding into the background.

#MetaGate

#MetaGate

分散型インターネットへのゲートウェイ

#MetaGateは、ただの分散型アプリケーションの仮想通貨ウォレットとブラウザではありません。これは普通のインターネットと並存しながらも、独自の規則に沿う分散型インターネットのゲートウェイです。変更したり、ブロックしたりすることは不可能です。どこにもあって、同時にどこにもありません。誰のものでもなく、同時に皆のものです。

普通の仮想通貨の技術的な複雑さと比べると、#MetaGateはとても簡単です。ネットワークセキュリティ機能をバックグラウンドで提供できるよう、必要な要素をそろえているため、エンドユーザーは簡潔かつわかりやすいインターフェイスを手に入れます。

#MetaGateはオープンソースのプログラムであるため、すべての開発者がそのコードの一部をアプリケーションとブラウザに埋め込むことができます

#MetaGate の内容

- ブロックチェーン全体をダウンロードする必要のない、「ライトモード」をサポートするマルチ資産ウォレット。データは分散型ネットワークの異なるソースから取得され、ユーザーにチェックされます。もちろん、ウォレットは、「フルノード」モードで動作することも、#MetaChainsアプリのコピーのある信頼ノードの選択で動作することも可能です。使用されているすべてのブロックチェーンの秘密鍵は、ユーザーだけが保管します。ソースコードを確保するためにソースコードから構築可能なウォレットは、コミュニティによって検証されますが、ウォレットは実際にはユーザーに属します。
- 分散型アプリケーションのカatalogとアプリを処理するブラウザ。#MetaHashで構築された分散型アプリケーションは、標準的なインターネットドメインだけでなく、#MetaGateを介したアクセスが可能で、個別のプログラムに割り当てすることも可能です。



#MetaHashCoin

#MetaHashCoin (#MHC)

#MetaHashは自己開発プロセスが遺伝コードに埋め込まれた自己融資システム

#MetaHashCoin は決済用です



取引

適切な固定価格での、あらゆる資産の迅速かつ確実な取引



アプリの作業

分散型アプリケーションまたはスマートコントラクトには、#MetaHashネットワーク自体を含む展開用のリソースが必要



データ格納

データを格納する必要があるものの、従来のブロックチェーンシステムのデータよりも速くて多いデータを必要とするアプリケーション用



その他のサービス

公開アドレス、#MetaAppsへのリスティング、#MetaGateでの広告、その他のソース向けの支払い

#MetaHashCoinの価値

投機的な需要を生むのではなく、人や企業が必要とする真の製品を提供

#MetaHashはコンセンサスに達するために非効率的なリソースを使用しません

#MetaHashCoin マイニング用リソース

サーバー

取引ネットワークの運用に使用されます。無料のリソースは、分散型アプリケーションの運用に使用されます

パソコンのウォレット

「フル」モードでは、ノードはシステムのバックアップと復元でまたトレントノードとして使用されます

#MetaHashCoin

PoW + PoSコンポーネントのハイブリッド投票モデルでコンセンサスのセキュリティを強化します

サーバーで#MHCを獲得するには、ネットワークセキュリティの観点から、コインを預け入れる必要があります。これにより、#MHCに対する追加的な需要が生じます

財務モデル

9,200,000,000 #MHCが今後10年以内に流通します。
最終金額の1%は92,000,000 #MHCです

- プライベートラウンド中に提供される価格のために#MHCの3%が#MetaHash創始者に分配されます。2020年1月1日まで創始者はこれ売る義務がありません。

- プライベートラウンド中に#MHCの2%が留保されます。

#MetaHashは、すべてのプライベートラウンド参加者に彼らの権利と参加条件について義務的に通知するものとします。
プライベートラウンドは、専門的な環境でのアイデアを検証し、チームを完成させ、PRキャンペーンを立ち上げ、プロジェクトのアドバイザーを雇うことが求められます。

タイミング：アプリケーションは2017年12月20日から2018年2月28日まで承認されます。

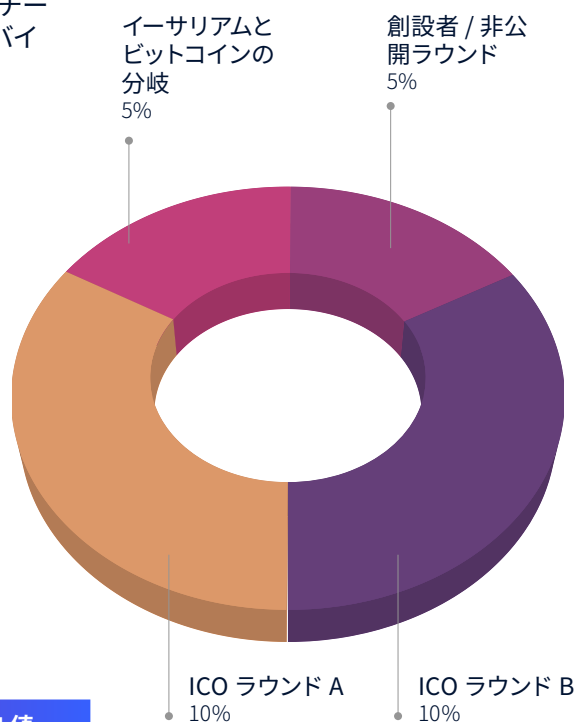
- #MHCの10%がICOラウンドA中に配布されます。この段階で集められた資金は、マーケティングキャンペーンのために支払われ、さらなるプロジェクトの開発のために使用されます。

ICOラウンドAの開始は2018年第2四半期に予定されています。ICOラウンドAの期間は3か月まで変更または延期することができます。

推定値：0.0000625 ETH = 1 #MHC。

ラウンドA額：36,000,000 米ドル *

初年度の#MHC発行割合



#MHC (#MetaHashCoin) の初回発行価格はすべてETH (イーサリアム) 表示

Stage	%	#MHC	価格 (ETH)**	ETH 値
創設者 / 非公開ラウンド	5	460,000,000	-	-
ICO ラウンド A	10	920,000,000	0.0000625	57,500
ICO ラウンド B	10	920,000,000	0.000125 (min)	115,000 (min)
イーサリアムとビットコインの分岐	5	460,000,000	-	-

#MHCの販売時、ETHの現在の為替レートが販売される#MHCコイン数を計算するために使用されることに注意してください。

各ラウンド中、#MHCは売り切れるまで販売されます。

* 為替レートは、1 ETHあたり626.09 米ドル（2008年4月26日現在のレート）に固定されています。

** ラウンドAで販売されたコインの総額は3,600万米ドルを超えることができません。1 #MHC = 0.0391 米ドル。

- #MHCの10%はICOラウンドBで配分されます。フォーミング後だけに始まります。

我々はすべての参加者に、ラウンドAが早期終了するとラウンドBは一方的に取り消しされることを警告します。この場合、ICOラウンドAの参加者だけでなく、創始者&プライベートラウンドのすべての参加者は#MetaHashが仮想通貨交換を開始する前に#MHCを21日間販売することができます。唯一の例外は、2020年1月1日まで#MHCを販売しないように義務付けられているプロジェクトの創始者です。

#MetaHashは創始者&プライベートラウンドの参加者からダンピングを防ぐための対策として1#MHC当たり0.0000625ETHの価格で買い戻す権利を留保します。これは義務ではなく、むしろ#MetaHashプロジェクトのための権利です。唯一の例外は、2020年1月1日まで#MHCを販売しないように義務付けられているプロジェクトの創始者です。

ホワイトペーパーは#MetaHashとICO参加者の関係を規定します。追加の利用規約は、[#MetaHashウェブサイト](#)に投稿されているドキュメントからご覧いただけます。

ICOラウンドB中、このプロジェクトのチームは市場状況と現在の需要に応じて、定期的かつ繰り返しトークン価格を引き上げる権利を留保します。このラウンドでの#MHCの開始価格は、2倍にしたラウンドAで提供される金額を下回ってはいけません。

仮想通貨交換の早期リストを作成する場合、ICOラウンドB中に配布のために初期計画された#MHCの10%は、ラウンドA価格の2倍で仮想通貨交換で販売されます。そのプロジェクトはDAOへの変換プロセスを開始します。

- #MHCの5%は、イーサリアムとビットコインのフォークを構築するために留保されます。これは460,000,000 #MHCです。

追加システム保護を実装するために#MetaHashはイーサリアムとビットコインブロックチェーンにアンカーを残すでしょう。#MHCの5%は、ETHとBTCデジタルアセット保有者の動機付けとして使用されます。なぜなら、我々はこれらのブロックチェーンシステムの利点を認識したいからです。

最も人気のある仮想通貨の所有者は#MHCの株を手にすることができます。したがって、私たちは、ICOへの貢献の大きさと#MetaHashネットワークへの動機づけにかかわらず、仮想通貨コミュニティの最もアクティブなメンバーを魅了したいと考えています。参加するには、イーサリアムまたはビットコインウォレットを使用して1つまたは複数の#MHCを購入する必要があります。ボーナスは、トランザクションシグネチャー確認手続きの際に授与されます。ボーナスは、460,000,000,000MHCがなくなるまで分配されます。

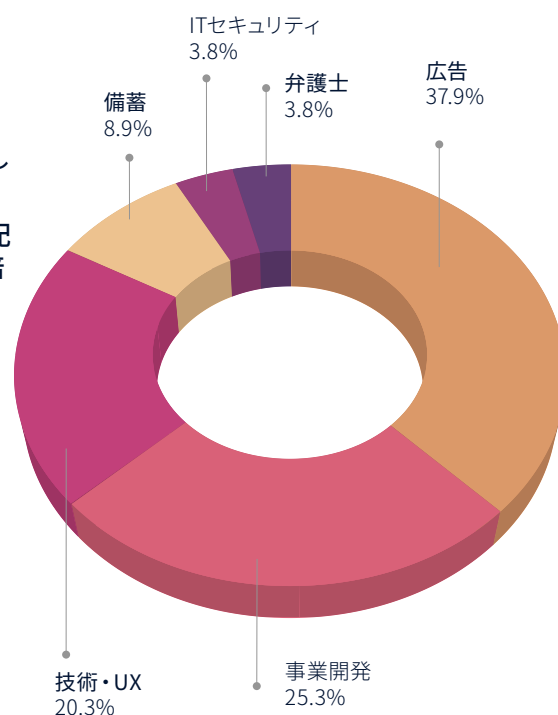
ICOラウンドBの開始時または仮想通貨交換の開始時のトランザクションに使用されたウォレットにボーナスが授与されます。ボーナスは、ウォレット残高に比例してイーサリアムとビットコインの所有者に与えられます。

ボーナス額:

1 ビットコインあたり4,000 #MetaHashコイン
1 イーサリアムあたり2,000 #MetaHashコイン

合計のボーナス額は、1 #Metaウォレットあたり100,000 #MHC を超えてはいけません。

ICOラウンドAファンド配分



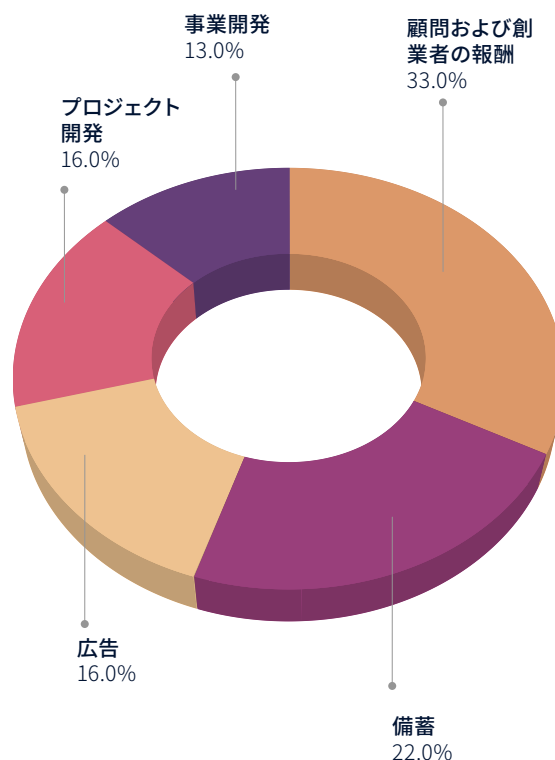
ボーナス付与は、
#MetaHash の裁量により、
ICO ラウンド B 開始日または
仮想通貨取引所への新規上
場日に始まります。これは 公
開ニュースチャンネルを介し
て先に発表されます

ボーナス付与期間は21日
間。付与のなかった#MHC
は#MetaHashに残ります。

- #MHC発行：1年あたり1%で10年間、目的はプロジェクトの発展。
#MHCの10%は、プロジェクトの発展と促進のために、10年間発行されます。事実上、これは必要時に#MetaHashによって使用される可能性のある備蓄です。
- #MHC発行：1年あたり1%で10年間、目的はプロジェクトチームへの刺激。
#MHCの10%は、チームのパフォーマンスを高めるために、10年間発行されます。2年に1度、プロジェクトを開発するチームが選出されます。
- #MHCの50%は今後10年、マイニングを活気づけるために発行されます。
初年に15.5%で始まり、10年目に5.9%で終わります。

このように#MHCの30%は、ICOラウンドBまたは仮想通貨交換の最初の上場の前に配布されます。残りの70%はICO後10年以内に発行されます

ICO資金
分配割合（計画経費を含む）



このプロジェクトは、ICO期間中に調達された資金が使い尽くされると、自己融資型エンティティとして成功する可能性が高いです。しかしながら、プロジェクトの開発チームが#MetaHashに支払う手数料のシェアを増やし、#MHC所有者が必要と判断した場合、この計画を投票で支持することができます。プロジェクトの創業者、専門家、顧問にはコミッションが支払われ、ICOの価格で（一般的な）#MHCを購入することができます。

作成者の報酬は、将来の#MetaHash管理者や企業に関係なく、プロジェクトの収入開始日から25年にわたって支払われます。

価格競争力を維持するため、ネットワークの手数料は、#MHCの価値に基づき、一般投票で変更される可能性があります。

データ処理がネットワークを干渉し始めた場合、メインネットワークと同じコンセンサスの独立したネットワークが割り当てられる可能性があります。ネットワークの負荷が標準的である場合、#MetaHashの変換手数料はかかりません。

#MetaHash ネットワークでの取引手数料

ネットワーク	～20%	～40%	～60%	～80%	80%
#MHC	0.0 #MHC	1 #MHC	10 #MHC	50 #MHC	100 #MHC
#MHC 資産	1 #MHC	10 #MHC	30 #MHC	100 #MHC	1,000 #MHC
データ処理	1 #MHC	30 #MHC	60 #MHC	200 #MHC	2,000 #MHC

#MHC マイニング

マイニングの報酬は、マイニングプールと取引手数料から入ります。報酬は、新しいブロック（トリム）が形成される6時間おきに計算されます。計算や支払いの頻度は、#MetaHashチームの裁量で、また技術的な要求に応じて、変わる可能性があります。

PoWシステムとは異なり、#MetaHashCoinsマイニングサーバーは老朽化せず、効率も失いません。数に限りがあり、#MHC掛け金に依存しているためです。改善が必要な唯一のことは、システムのコアですが（スケーリングが必要になる場合）、この段階での取引手数料はアップグレードを完全にカバーします。

マイニングの報酬の50%は #MetaHashCoins所有者の間で分配

コイン所有者は、自分のノードを含む、何らかのネットワークノードに投票権を委任することができます。これは、ウォレットのインターフェイスを介して簡単に行うことができます。委任された側はネットワークで技術的な取引を始めます。#MHC所有者は、自分のノードを確立する代わりに、自分が信頼するノードのオペレーターに投票権を与え、その手数料のシェアを得ることができます。この方法で、コミュニティが信頼するノードに多数の票が集中し、システムへの攻撃が困難になります。

#MHC所有者に支払われる手数料は、各コミット（ブロック）の投票力が計算される際に考慮に入れられる所有制限にかかわらず、プール全体の50%になります。

#MetaHashのコミット（ブロック）のマイニングプロセス（またはマイニング）で受け取る#MetaHashCoinsの額は、以下の式で計算されます。

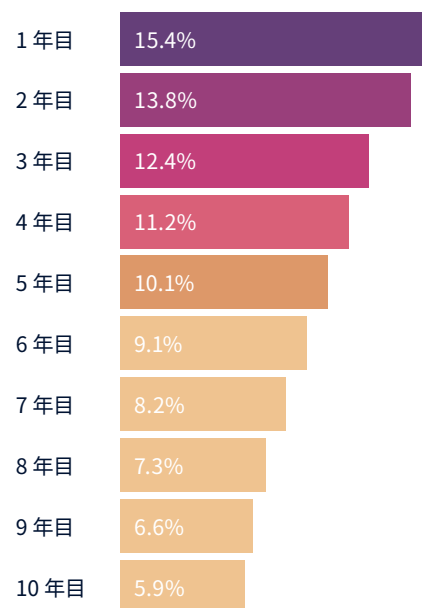
$$\frac{h}{t} * (fp + c)$$

h - 所有者掛け金 t - 掛け金の総額 fp - マイニングプール c - 手数料

40%はネットワークのノードの所有者の間で分配

技術的性能が最も高く、委任コインの多いノードは、ネットワークのコアになります。このシステムは、最大の能力のあるノードを追加することをユーザーに促す設計になっています。システムに必要なのは、多数のパソコンではなく、高い処理能力のパソコン、ピアノードの役割を遂行できてネットワークのコアを保護できる弱いパソコンです。ネットワークが高性能のノードで満ちると、ネットワークが一定の時間単位で実行できる取引の件数が増えます。

年ごとのマイニングシミュレーション



最低掛け金:

ノードを有効化するために、委任コインには最低限度があります。

- 1,000,000#MHC。ノードあたり最大10,000,000委任#MHCの投票力のあるマスター/スレーブ/検証/ブロックチェーンノードとして機能。
- 100,000#MHC。ノードあたり最大999,900委任#MHCの投票力のあるピアノードとして機能。
- 100#MHC。#MetaApps/プロキシ/ウォレットノードとして機能。

10%は有効なウォレットの所有者への支払い

新しいラウンドの勝利ウォレットは、前のトリムのハッシュ値（すなわち最後のラウンドの終了までに発生したすべての取引からの）に基づき、有効なウォレットの無作為分配を行う数式で選択されます。従って、勝者は新しいラウンドの開始時にすぐに判明し、勝者のウォレットに通知が届きます。前のトリムのハッシュはネットワーク全体で知られるため、あらゆるユーザーが同じ数式で計算して、正しいかどうかを簡単に確認することができます。ハッシュ計算後の多数回のハッシュで、本ラウンドの現在のハッシュ値に最も近いウォレットがその地位を得て、次のハッシュが計算され、新しい勝者が決まります。その日のマイニング報奨プールを 1,904,000#MHC（初年度の1日のプール）と仮定して（報奨プールを増やす手数料は除外）、ウォレットの報酬を計算してみましょう。

ウォレットはシステムの完全性を保護します。ウォレットにより、誰かがすべての#MHCの67%以上を所有していても、システムを支配できません。ウォレットは、ノードとは対照的に、大きな報酬を生むことはできませんが、ネットワークユーザーに素晴らしいボーナスをもたらす可能性があります。

1#MHC以上の有効なウォレットすべてに可能性があります

5%: 第1位 (95,200#MHC)

1%: 第2位 (19,040#MHC)

0.5%: 第3位 (9,520 #MHC)

0.34%: 第4位 (6,473#MHC)

0.235%: 第5位 (4,474#MHC)

0.95% : 6位から100位、0.01%190各MHC

1.8% : 101位から1000位、0.002%38各 #MHC

マイニング報酬計算例

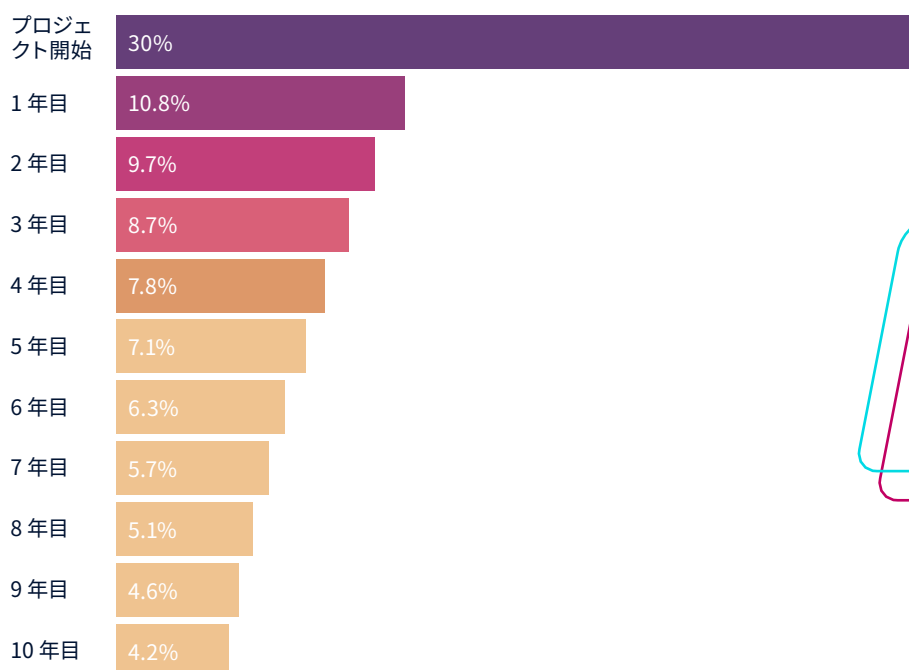
マイニング報酬プールが1,904,000#MHCであると仮定して報酬を計算してみましょう

- 報酬の50%は投票コインに与えられ、10,000#MHCです。
- アリスさんは1,000,000#MHCで投票に参加。投票の参加総額は10,000,000#MHCです。
- アリスさんは5,000 #MHCの10% = 500#MHCを受領します。
- アリスさんがノードを購入し、自分のコインで投票した場合、ノードに対してさらに400#MHCを受領します。
- ノードを持たないボブさんは、自分の1,000,000#MHCを使ってアリスさんのサーバーに投票。アリスさんはさらに400#MHCを受領します。
- 結果的に、アリスさんは、このコミット（ブロック）で1,300#MHCを獲得しました。
- 1,000#MHCは分配されます。

年ごとの#MetaHashCoins 発行割合

全#MetaHashCoinsの30%は、創業者ラウンド、非公開ラウンド、ICOラウンドA、ICOラウンドB、ビットコインとイーサリアム分岐の参加者に配布されます。

残りの70%は、ICOの時点では存在せず、#MetaHashコードに従って予定日時に発行されます。70%の構成は、#MetaHashマイニング活性化50%、プロジェクトチーム支援10%、プロジェクト開発支援10%です。



Legal Disclaimer

GENERAL INFORMATION

The MetaHash Coin (“#MHC”) does not have the legal qualification of a security, since it does not give any rights to dividends or interests. The sale of #MHC is final and non-refundable. The #MHC are not shares and do not give any right to participate to the general meeting of MetaHash AG, a company incorporated in Zug, Switzerland (hereinafter referred to as “MetaHash”). The #MHC cannot have a performance or a particular value outside the MetaHash Platform. The #MHC shall therefore not be used or purchased for speculative or investment purposes. The purchaser of #MHC is aware that national securities laws, which ensure that investors are sold investments that include all the proper disclosures and are subject to regulatory scrutiny for the investor’s protection, are not applicable.

Anyone purchasing #MHC expressly acknowledges and represents that she/he/it has carefully reviewed this White Paper and fully understands the risks, costs and benefits associated with the purchase of #MHC.

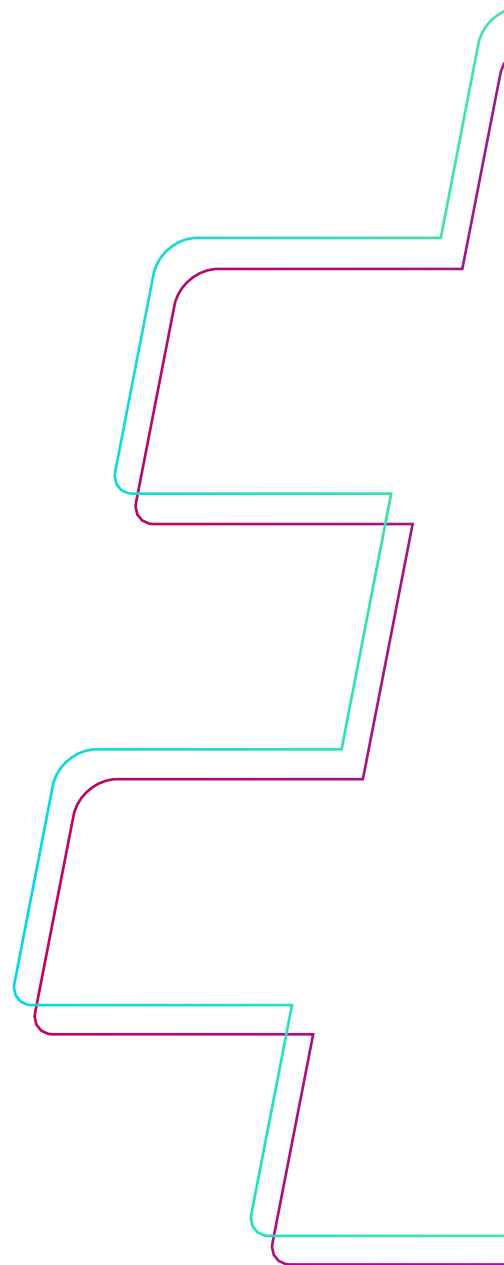
KNOWLEDGE REQUIRED

The purchaser of #MHC undertakes that she/he/it understands and has significant experience of cryptocurrencies, blockchain systems and services, and that she/he/it fully understands the risks associated with the Initial Coin Offering (“ICO”) as well as the mechanism related to the use of cryptocurrencies (incl. storage).

MetaHash shall not be responsible for any loss of #MHC or situations making it impossible to access #MHC, which may result from any actions or omissions of the user or any person undertaking to acquire #MHC, as well as in case of hacker attacks.

RISKS

Acquiring #MHC and storing them involves various risks, in particular the risk that MetaHash may not be able to launch its operations, develop its blockchain and provide the promised services. Therefore, and prior to acquiring #MHC, any interested person should carefully consider the risks, cost and benefits of acquiring #MHC in the context of the ICO and, if necessary, obtain any independent advice in this regard. Any interested person who is not in the position to accept or to understand the risks associated with the activity (incl. the risks related to the non-development of the MetaHash Platform) or any other risks as indicated in the Terms & Conditions of the ICO should not acquire #MHC.



IMPORTANT DISCLAIMER

This White Paper shall not and cannot be considered as an invitation to enter into an investment. It does not constitute or relate in any way nor should be considered as an offering of securities in any jurisdiction. The White Paper does not include nor contain any information or indication that might be considered as a recommendation or that might be used to base any investment decision. This document does not constitute an offer or an invitation to sell shares, securities or rights belonging to MetaHash or any related or associated company. The #MHC is a utility and payment token, which can be used only on the MetaHash Platform, and is not intended to be used as an investment.

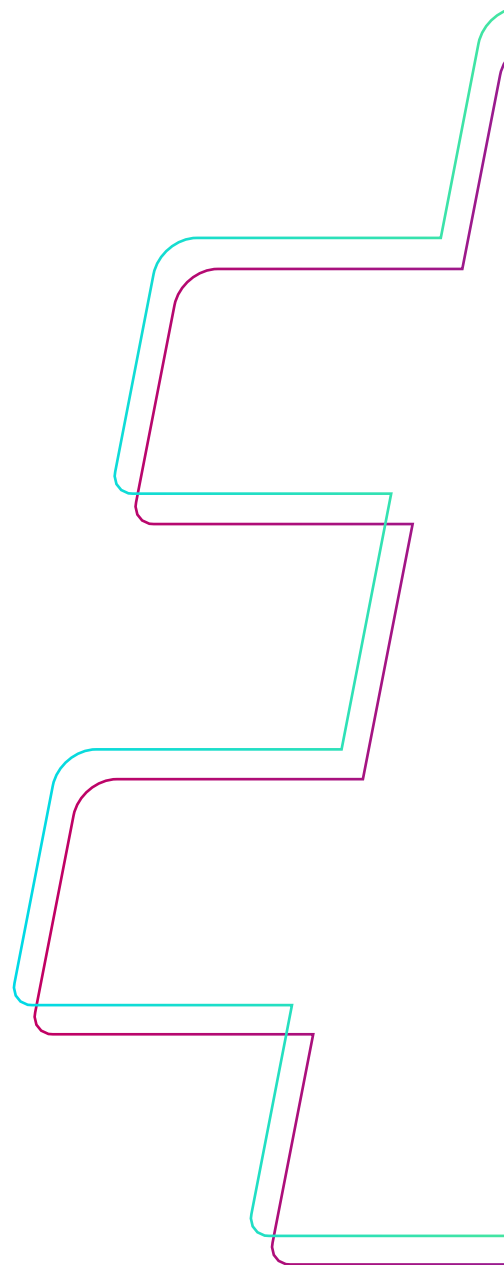
The offering of #MHC is done in order to access the MetaHash Platform, purchase services related exclusively to the latter and not for speculative purposes. The offering of #MHC Tokens on a platform is not changing the legal qualification of the token, which remains a simple means for the use of the MetaHash Platform and is not a security.

MetaHash is not to be considered as advisor in any legal, tax or financial matters. Any information in the White Paper is given for general information purpose only and MetaHash does not provide with any warranty as to the accuracy and completeness of this information. Given the lack of crypto-token qualifications in most countries, each buyer is strongly advised to carry out a legal and tax analysis concerning the purchase and ownership of #MHC according to their nationality and place of residence or incorporation.

MetaHash today is a financial intermediary according to the Swiss Federal Act On Combating Money Laundering and Terrorism Financing (AMLA). As a consequence, MetaHash has concluded an agreement with the company Eidoo AG, a Swiss financial intermediary affiliated to a self-regulatory organization according to the AMLA. With this agreement, MetaHash, in application of FINMA guidelines for enquiries regarding the regulatory framework for initial coin offering, published on 16 February 2018 («FINMA ICO guidelines»), has fully delegated to Eidoo AG the execution of the AMLA requirements in relation to the acceptance of the funds that will be raised through the ICO. According to the FINMA ICO guidelines and in consideration of the agreement concluded with Eidoo AG, MetaHash has not to be itself affiliated to an SRO or to be licensed by FINMA. .

The #MHC confer no direct or indirect right to MetaHash's capital or income, nor does it confer any governance rights within MetaHash; the #MHC is no proof of ownership or a right of control over MetaHash and does not grant the purchaser any asset or share in MetaHash, or in the MetaHash Network. The #MHC does not grant the purchaser any governance or right to participate in control over MetaHash's management or decision making set-up, or over the MetaHash Network.

Regulatory authorities are carefully scrutinizing businesses and operations associated to crypto currencies in the world. In that respect, regulatory measures, investigations or actions may impact MetaHash's business and even limit or prevent it from developing its operations in the future. Any person undertaking to acquire #MHC must be aware that the MetaHash business model, the White Paper or Terms & Conditions may change or need to be modified because of new regulatory and compliance requirements from any applicable laws in any jurisdictions. In such a case, anyone undertaking to acquire #MHC acknowledge and



understand that neither MetaHash nor any of its affiliates shall be held liable for any direct or indirect loss or damage caused by such changes.

The MetaHash Platform will function and provide access and services at the closing of the ICO. Depending on further potential developments of the MetaHash Platform, other services may be released and offered to the users.

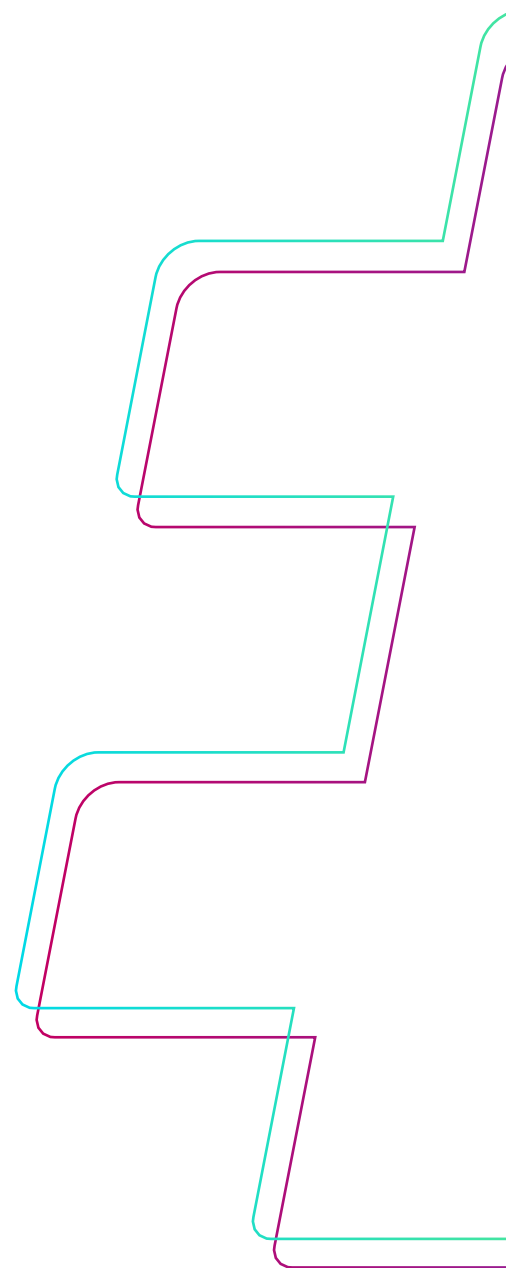
On concluding the commercial operation, The #MHC will be issued by a technical process referred to as “Blockchain”. This is an open source IT protocol over which MetaHash has no rights or liability in terms of its development and operation. The token distribution mechanism will be controlled by a Smart Contract; this involves a computer program that can be executed on the Ethereum network or on any blockchain network that is compatible with Smart Contract programming language. Any person undertaking to acquire #MHC acknowledge and understand therefore that MetaHash (incl. its bodies and employees) assumes no liability or responsibility for any loss or damage that would result from or relate to the incapacity to use the #MHC, except in case of intentional misconduct or gross negligence.

The #MHC are based on the Ethereum protocol. Therefore, any malfunction, unplanned function or unexpected operation of the Ethereum protocol may cause the MetaHash Network or the #MHC to malfunction or operate in a way that is not expected. Ether, the native Ethereum protocol account unit may itself lose value in a similar way to the #MHC, and also in other ways.

REPRESENTATIONS AND WARRANTIES

By participating in the ICO, the purchaser agrees to the above and in particular, she/he/it represents and warrants that she/he/it:

- have read carefully the Terms & Conditions attached to the White Paper; agrees to their full contents and accepts to be legally bound by them;
- is authorized and has full power to purchase #MHC according to the laws that apply in her/his/its jurisdiction of domicile/place of incorporation;
- is not a U.S. citizen, resident or entity (a “U.S. Person”) nor is she/he/it purchasing #MHC or signing on behalf of a U.S. Person;
- is not a Chinese resident or entity nor is she/he/it purchasing #MHC or signing on behalf of a Chinese resident;
- is not a South-Korean resident or entity nor is she/he/it purchasing #MHC or signing on behalf of a South-Korean resident;
- lives in a jurisdiction which allows MetaHash to sell the #MHC through an ICO without requiring any local authorization and are in compliance with the local, state and national laws and regulations when purchasing, selling and/or using the #MHC;
- does not live in a jurisdiction which is qualifying token issued through an ICO as securities;

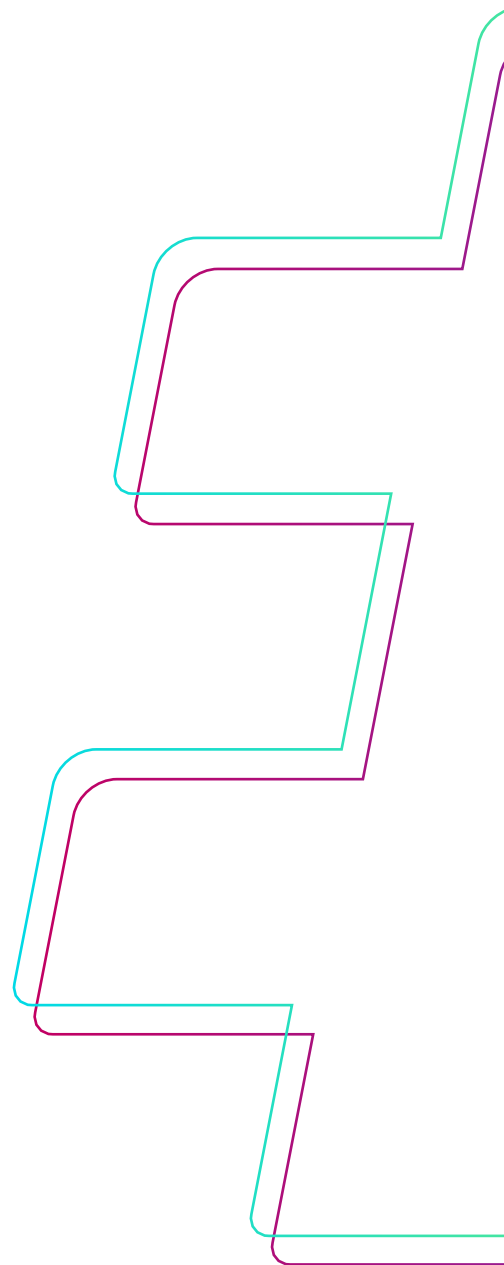


- is familiar with all related regulations in the specific jurisdiction in which she/he/it is based and that purchasing cryptographic tokens in that jurisdiction is not prohibited, restricted or subject to additional conditions of any kind;
- will not use the ICO for any illegal activity, including but not limited to money-laundering and the financing of terrorism;
- has sufficient knowledge about the nature of the cryptographic tokens and has significant experience with, and functional understanding of, the usage and intricacies of dealing with cryptographic tokens and currencies and blockchain based systems and services;
- purchases #MHC because she/he/it wishes to have access to the MetaHash Platform;
- is not purchasing #MHC for the purpose of speculative investment or usage.

GOVERNING LAW - ARBITRATION

The purchaser acknowledges and accepts that the MetaHash ICO operation is taking place within a Swiss legal environment that is still under development. The Parties agree to seek and amicable settlement prior to bringing any legal action. All disputes arising with the White Paper and any document provided in the context of the ICO, shall be resolved by arbitration in accordance with the Swiss Rules of International Arbitration of the Swiss Chambers of Commerce in force on the date when the Notice of Arbitration is submitted in accordance with these Rules. The arbitration panel shall consist of one arbitrator only. The seat of the arbitration shall be Zug, Switzerland. The arbitral proceedings shall be conducted in English.

For your convenience our legal consultants' opinions are available upon request at legal@metahash.org



投票機能

#MetaHashネットワークの 投票機能

投票手順

投票のすべての種類は、#MetaGateインターフェイスでの通知と対応するチャンネルのアラートで始まります。提案された更新情報の詳細は、英語で公開され、メインのディスカッションのスレッドや、他言語のスレッドへのリンクがあります。

開票

投票システムは、有権者に属する#MHCの額に基づいています。「投票」とは、有権者の秘密鍵で署名された技術的取引であり、一般に公開されています。提案に50%+1票が集まると、勝利します。

期間別の投票の種類

- 「緊急投票」：コミュニティの投票期間は24時間
必要な時にのみ使用されます。提案への反対票が10,000,000票以上集まると、手順のステータスは「速急」に変わります。
- 「速急投票」：コミュニティの投票期間は1週間
提案への反対票が100,000,000票以上集まると、手順のステータスは「標準」に変わります。
- 「標準投票」：コミュニティの投票期間は1カ月
投票は公に開始されるか、「速急」モードから変わります。

変更提案種別の投票の種類

規約変更に対する投票

最高法的権限であるプロジェクトの規約は、プログラムコードに埋め込まれた規定で構成されています。これらの規定は、プロジェクトを規制するものです。これには、プロジェクトの参加者の権利と義務、およびプロジェクトの機能やインターフェイスに対する変更投票の規則が含まれます。規約の初版を作成しているのは、プロジェクト立ち上げチームです。

開発を担当するプロジェクトチームの選出

2年に1度、プロジェクトチームの選挙が行われます。

最初の10年は、#MHCの1%がチームの作業の資金として割り当てられます。10年が経過した後は、#MetaHash社の収入がその活動の自己融資に十分な額となる見込みです。

最初の2年が経過した後、プロジェクトの支援の継続を希望する人は、次の2年分のその予算案とプロジェクト開発対策案のリスト、チームメンバーの指名案を公開する必要があります。

#MetaHashソフトウェアの更新方法

ソフトウェアの更新に関する決定が必要となった場合、「標準投票」手順が始まり、公示されます。

必要性が高い場合は、「緊急」または「速急」投票が始まる可能性もありますが、提案された変更に対して反対票が25%集まると、投票期間は「速急」または「標準」に延長されます。投票に参加できるのは#MHC所有者であり、ノード所有者ではありません。最新バージョンのソフトウェアを実行しているノードのみが、ネットワークでの作業を許されます。

手数料、予算、自己融資ツールの変更

プロジェクトの財務計画には、#MHC所有者の速急および長期の利益のバランスが反映されている必要があります。

金融商品の変更は、「標準」投票で決定されます。これは公示されません。

アプリのブロックと意義申し立て

アプリのブロックおよび意義申し立ての「標準」投票を始めるには、10,000,000票が必要です。100,000,000票集まると、投票は「速急」に変わります。500,000,000票投じられると、投票は「緊急」に変わります。アプリをブロックするまたは異議申し立てを勝ち取るには、得票率67%が必要です。

ロードマップ

ロードマップ

過去

プロジェクトの技術部分の礎には、AdSniper社が2012～2017年に開発した広告技術分野の達成があります。

- C++で動作し、1秒あたり1,000,000件以上のリクエストを同時に単一の安い標準サーバーに送受信する能力のある、信号受信のネットワークライブラリ。
- クラスタマシンの間の大規模なデータフローを管理する、クラスタ内の同期信号のネットワークライブラリ。
- 多要因相互関係を考慮に入れて信号に応答するため、10ミリ秒で決定を行う機械学習システム。
- 大きなデータを分散処理する、C++のシステムのような独自のHadoop類似技術。

現在、AdSniper社に属する地理的に拡散した各ノードは、1秒あたり百万件以上の速度でリクエストをインターネット全体から受け入れており、サーバーを追加すれば無制限に拡張可能です。

ブロックチェーン技術の応用に対するたくさんのお問い合わせを、さまざまな企業よりいただきました。そのことから、既存の技術はそのような種類のシステムの要求を満足できていないという理解にいたりました。そして2016年、独自のプロトコルの開発に着手しました #TraceChain

現在 (2017年～2018年1)

5月	#TraceChainプロトコル（アルファ版）の開発
8月	#TraceChainプロトコル（ベータ版）の開発
9月	AdNow チームの参加
10月	Agranovsky IT チームの参加
11月	事業開発チーム結成
12月	運用チーム結成
1月	#MetaHashウェブページの立ち上げ 運用チームの事務所建設開始

2017年には、我々は#TraceChainプロトコルのアルファ版とベータ版を作成し、国際マーケティングとビジネス開発の分野で最強の企業や人々と協力しました。2018年の初めに、プロジェクトのリリースに知恵を貸してくれて、サポートをしてくれるブロックチェーン、セキュリティ、取引所、法律サービス、マーケティング、金融技術におけるエキスパート達とのネットワークを作り始めました。

2018

第1四半期

- 専門家とアドバイザーの合流
- #MetaGate (v.1.0) の開発。仮想通貨ウォレット間のトランザクションでデータを格納する複数のサーバー上のウォレット間で#MetaHashCoinsを転送する機能を備えたマルチアセットウォレット。
- #TraceChain (v.1.0) の開発
- #TraceChain (v.2.0) の開発。#TraceChainデータダウンロードAPI
- #MetaICO (v.1.0) の開発。さまざまなブロックチェーン（ビットコインおよびイーサリアム）からアセットを受け取り、#MetaHashネットワークでトークンを配布し、イーサリアムネットワークでERC20を含むマルチチェーントランザクションを実行する#MetaHashプラットフォームのICOインターフェイス
- #MetaChains (v.1.0) の開発。#MetaHashCoinsをERC20に変換してイーサリアムネットワークに引き出し、#MHC所有者が使用するネットワークを選択し、ERC20トークンを#MetaHashCoinsに自動的に変換できるようにする
- #MetaAppsの開発 (v.1.0) 。アプリケーションプラットフォーム

第2四半期

- #MetaChainsの開発 (v.2.0) さまざまなブロックチェーンプラットフォームに関連付けられたトランザクション履歴とウォレットのバランスを備えたAPI。#MetaAppsでブロックチェーン相互運用性を提供するために必要なイーサリアムとビットコインネットワークのトランザクションに関する情報を含む分散型アプリケーション
- #MetaGate (v.2.0) のリリース。ウォレット間の公開通知およびメッセージングのための暗号化されたメッセージャー
- #TraceChain (v.3.0) のリリース。あらゆるサーバー内でインストールするTestNetに接続するピアノード
- オペレーションチームオフィスの開設
- ICOラウンドAのスケジュール開始
- #TraceChain (v4.0) 。ネットワークコアパフォーマンステストサービス（毎秒1,000,000件以上のトランザクション）
- #MetaICO (v.2.0) 。ネットワーク#MetaHash内にトークンを作成するインターフェイス
- #MetaICO (v.3.0) 。#MetaHashでのICOプロジェクトプラットフォームのリリース。
- #TraceChain (v4.0) 。 #MetaHashネットワークの投票機能
- #TraceChain (v.5.0) 。AIは、#MetaHashブロック作成とバンド幅の最高速度を提供するためにノード間の信号のルーティング、ノードの相互作用をテストするために異なる地理的位置の100のテストノードを管理します。

第3四半期

- #MetaICO (v.4.0) 。#MetaHashネットワークで使用する#MetaHok-Coinへの#MetaTokenアプリケーションのリリース、ETHのトークン化、ERC20、ビットコイン
- #TraceChain (v.6.0) 。#MetaStorage、分散型アプリケーション用サービス
- #MetaApps (v.2.0) 。第三者分散型アプリケーションの自己展開プラットフォーム
- #MetaGate (v.3.0) 。#MetaAppsカタログ付きMac / Win / Unix / Android / iOS用の#MetaGateウォレットの最終リリース

第4四半期

- #TraceChain (v.7.0) 。フォージングの開始
- ICO Round B 開始または仮想通貨取引所の正式な組織化と統制の上場契約の締結
- さらなる計画発表

2019 第1四半期

- セキュリティー拡張テスト
- テスト完了時のソースコードの公開
- 完全分散型システムの開始



实际发布日期可能与计划有所不同。该项目的优先事项正在改变。因此，某些功能可能比预定更早或更晚引入。同时，可能会增加最初计划中未公布的一些项目要素。

我们可能会在发布日期前两周更改锻造的发布日期并提醒您。

アドバイザーとコ ンサルタント

法的アドバイザー

スイスのKPMG AGは、コインオファリング (ICO) の準備としてリリースされたホワイトペーパーに関する規制、税務、法的見解における#MetaHashの独占的法律顧問とその管理を担当しました。



Daniel G. Viola

パートナー - Sadis&Goldberg LLPの規制およびコンプライアンスグループ責任者

Daniel G. Viola氏はSadis&Goldberg LLPのパートナーであり、規制およびコンプライアンスグループの責任者です。彼はブローカー・ディーラー、投資アドバイザー、ファンドを組織、編成し、規制や企業問題に関連して投資専門家に定期的にコンサルティングを行います。Viola氏は2014年以来、ブロックチェーンとバーチャル通貨の分野で活躍しています。仮想通貨アセットウェビナー、ブロックチェーンシフト会議の創設者でもあり、いくつかのICOの顧問委員としても活躍しています。また、1992年から1996年にかけてSECの北東地域局のコンプライアンス審査員を務めました。SECの在任期間中にViola氏は、登録された投資顧問の試験を含むいくつかのコンプライアンスインスペクションプロジェクトおよび執行措置に取り組み、連邦および州の証券法の遵守を確保しました。Viola氏の審査経験には、財務諸表、業績広告、開示書類審査同様ERISAおよび不正証券取引取締法の元に生じるヘッジファンドと投資顧問の分析が含まれます。2006年後半、Viola氏は自身の法律事務所を設立し、最終的にSadis&Goldbergの法律実務と統合させました。



wenger & vieli Rechtsanwälte

Wenger & Vieli AG

Wenger&Vieli AGは、チューリッヒおよびツークにオフィスを構えるグローバル法律事務所です。

Wenger&Vieli AGは、初期コイン・オファリングの規制面を評価する際に#MetaHashのアドバイザーを務めました。 メリタスのメンバーは世界主要都市のメンバーから成る法律事務所で最大の国際団体の1つです。税法の分野で、Wenger&Vieli Ltdは世界100カ国以上のコンサルティング会社の世界的なネットワークを持つWTS Globalと協力しています。

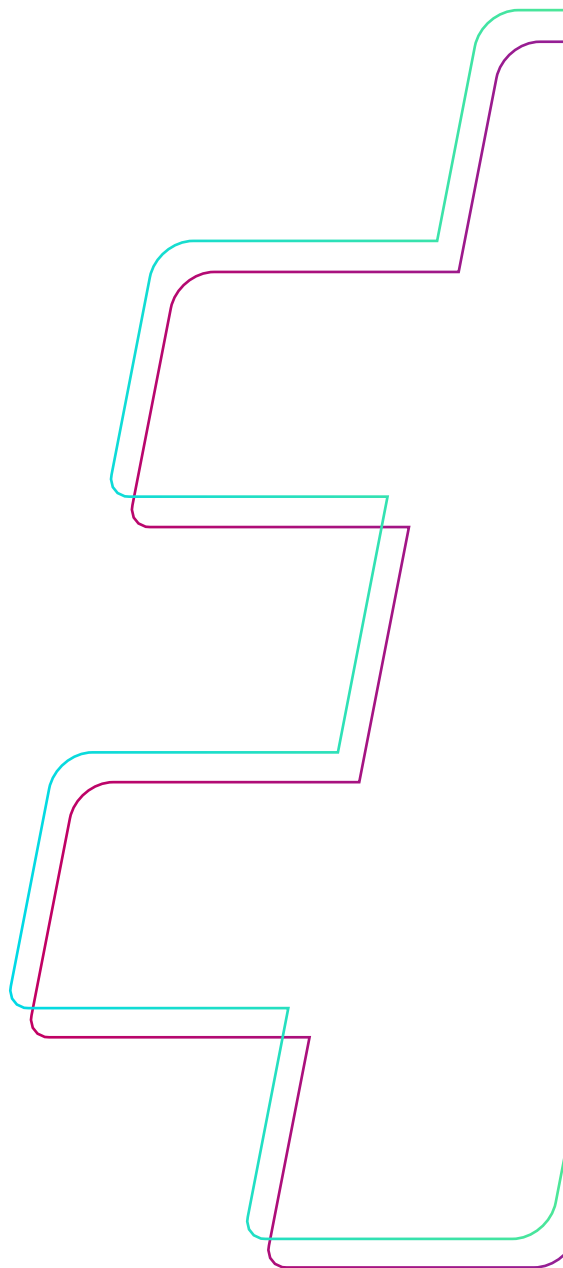
Oliver Ciric

TA Advisoryのパートナー

2017年6月以来、TA顧問のパートナーブロックチェーンプロジェクトの法的サポートをし、またFINMAとの協力に関するアドバイスも行います。20年以上の国際法学における経験。

Oliver氏は2006年に銀行法と金融法を専攻としてボストン大学法学部を卒業し、1998年には「資格と法律」を専門とするジュネーブ大学法学部を卒業しました。

過去の経験：Nationale Suisse Assurances、Matile Brosset Stickel-Cicurel&Gianninazzi、Poncet Turrettini Amaudruz Neyroud&Partners、Akin Gump Strauss Hauer&Feld LLP (旧 Hogan&Hartson LLP)。言語：ドイツ語、英語、フランス語、ポルトガル語、ロシア語、セルビア語。



当社のチーム

当社のチーム

このプロジェクトは、3人の夢想家とその企業の最高の専門家の努力の賜物です。国際マーケティング、PR、事業開発の専門家も招きました



Gleb Nikitin

Co-Founder, Partner, CRO



大規模な技術プロジェクトの開発で20年以上の経験を持つ連続起業家。AdSniper社創業者。

AdSniper社はここ10年間で、高負荷広告ネットワークを作成しました。同社の独自の大規模データプロセッサは、ペタバイトデータのサービス、高速NoSQLおよびSQLデータベース、人工知能システム、および高負荷の広告サービス用のC++ライブラリを組み込み、インターネット全体からの広告要求を処理します。

ad-sniper.com 従業員29名

主要なスタッフ



Oleg Romanenko

CSA

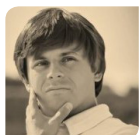
AdSniperのリアルタイムサービスの構築者、AlfaBankオンラインバンキングシステムのシステムアナリスト。1ノードで1秒あたり100万件を超えるリクエストを処理できる高負荷ネットワークライブラリーの作成者



Mikhail Zarutskiy

CTO

および他の機械学習アルゴリズムとニューラルネットワークの計算を組み合わせるリアルタイムで何百万のリクエストを処理できるRazoom AIを作成者たAI、ビッグデータ、リアルタイムサービスチームの責任者。



Sergey Raylyan

CTO

および他の機械学習アルゴリズムとニューラルネットワークの計算を組み合わせるリアルタイムで何百万のリクエストを処理できるRazoom AIを作成者たAI、ビッグデータ、リアルタイムサービスチームの責任者。



Dmitry Borisenko

TL、トップC++開発者、Hadoopシステムの100倍以上の速度の代替品の開発者



Vladimir Bashkin

アドナウCEO兼CMO



1日あたりインプレッション数10億以上の広告ネットワーク。すべての広告ネットワークにおいて、現地市場の翻訳者と広告専門家を抱え、広告を購入する、世界で最も強力なチームの1つ。

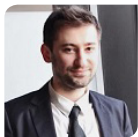
adnow.com
従業員89名

主要なスタッフ



Artem Kravchenko

マーケティングコミュニケーションマネージャー
AdDays Digital EventsのCEO。Bitcomo Affiliate Network
イベントディレクター



Lavrentios Penklidis

シニアコンテンツマネージャー



Pham Thành Trung

地域社会部長
AdNow広告部門長、AdNowアジア地域セールス部門
長、AdNowセールス・ビジネス開発マネージャー



#MetaHashに
すでに

150 

人以上のメンバー
が参加

#MetaHashは、オープン構造のチームのプロジェクトであり、すべての人と企業を歓迎します。



Anton Agranovsky

Co-Founder, Partner, CBD0



IT企業の設立と開発の分野の投資家、専門家、オピニオンリーダー。Plastic MediaおよびSMX Communicationsの取締役。ITのスタートアップに投資し、アイデアからIPOへの企業の成長に随行しています。2008～2017年、ロシアのインターネット市場で最初のゲーム会社の1つで独自の開発とローカリゼーションで知られるDesiny Developmentの創業者兼社長。

Forbes誌寄稿者



agranovsky.org
従業員11名

主要なスタッフ



Gennady Yakunin

CEO Agranovsky IT

持株会社で会計を組織。ITおよびゲームプロジェクトで10年以上の経験保有



Svetlana Rudenok

副 CEO Agranovsky IT

リスク評価の専門家。ITおよびゲーム業界の新しいプロジェクトやアクティブなプロジェクトでの監査経験10年以上



Andrey Korostelev

CFO Agranovsky IT

ITおよびゲームプロジェクトの財務管理で10年以上の経験保有。社会事業、慈善事業の積極的な支援者

オペレーショナルチーム

17 名

主要なスタッフ



Dmitry Ushakov
COO、ジェネラルPM
ゲームインサイトなどのITスタートアップ企業のマルチユーザープロジェクトの運用管理において11年以上の経験



Andrey Akimov
コミュニケーションオフィス長
ゲーム、エンターテインメント、そしてITビジネスにおけるマーケティングとPRで15年以上の経験。かつてはMy.com、Mail.Ru Group、Game InsightなどのPRやマーケティングの責任者



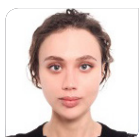
Evgenii Dobrelia
クリエイティブ制作代表
クリエイティブプロジェクトにおいて経験15年以上もつ。ソニー、任天堂、Riot Games、Nival、Hobby Worldなどの会社で働いていました。以前はMy.comとMail.Ru グループのクリエイティブアセットプロダクションのリーダーでした



Vitaly Golban
CBDO USA
経験豊富な起業家、仮想通貨資金マネージャー、グローバル企業における10年以上のオペレーショナルマネジメントの経験があります



Igor Ivchenko
仮想通貨大使
事業開発、金融、銀行業務、M&A経験を12年以上。起業家精神、引き受け、投資における豊富な経験を持つ



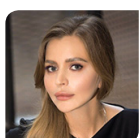
Julie Dvorchenskaya
アジアのBDマネージャー Mena



Alexander Zhigarenko
ロシアおよびCISのCBDO
Destiny.Gamesとゲーム業界で出版、運営、ビジネス開発において10年以上の経験



Michail Iwanow
アートディレクター
ビジュアルとプロダクトデザインの分野において16年以上の経験があり、RUSNANO、ソニー、キヤノン、ニコンなどのさまざまなプロジェクトに携わりました



Eugenia Sigacheva
広報パートナー
国際マーケティング・PR、IT・イノベーションでの経験18年以上。有名なロボットSophiaの国際チームの一員、IHEARTプラットフォームのCEO兼創業者

法務部



Andrey Mironov
法務部の代表



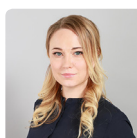
2000年にMGIMOの国際法学部を卒業。新技術、メディア、知的財産の分野における法律実務は15年以上です。彼はアートで働きました。 Lebedev Studio、Odnoklassniki、Myspaceのロシアオフィス、MTV、ディスカバリー、アメディア、オンラインシネマ。 EKSMOの出版社であるFox TVチャンネルの開発に協力しました。ロシア電子通信連合 (RAEC) のエキスパートです。



Maria Agranovskaya
氏 法的コーディネーター長

20年以上の経験を持つ弁護士。2010年に仮想通貨の問題を解決し始めました。ロシアのMGIMO MID (国際法)、ドイツとオランダで学びました。多国籍企業のオフィスを運営し8年半、様々な管轄区域でのあらゆる国境を越えた取引、投資、資産管理、取引および企業構造、M&A、国際課税などに取り組んできました。

分野：フィンテック、ファイナンス、テレコム、銀行、エネルギー、医薬品、不動産など。2007年：GRAD弁護士バーの設置 (マネージングパートナー、30名以上のロシア弁護士と外国弁護士) ブロックチェーン技術、ICO (TGE) 関連プロジェクト、取引および財務規制、資金および財務活動に実質的に従事しています。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語を話します。



Anastasia Pichugina
ANP法マネージメントパートナー

マネージングパートナーであるアナスタシアは、ロシア法と外国法においてユニークな経験と知識を持ち、いくつかの外国企業の信頼できる法律代表者です。



Ekaterina Myznikova
上級弁護士 ANP

ブロックチェーンプロジェクトの実務責任者。プロフィール会議、ウェブセミナーの参加者との講演者と共にいくつかのICOプロジェクトを成功させました。



Katya Fisher

Katya Yoffe氏 (néeFisher) は法律、国境を越えた取引、ビジネスイミグレーションに焦点を当てた弁護士です。Katya氏は、有名人やHNWだけでなく米国で事業を展開する著名企業や新興企業の代表しています。Katya氏は、2014年、2015年、2016年、2017年および2018年に「ライジングスター」としてスーパー弁護士に選ばれました。Katya氏は、ニューヨーク大学、ベンジャミン・N・カルドーゾロースクール、オックスフォード大学のインターナショナルメディア法とポリシー、ペンシルバニア大学グローバルコミュニケーション研究センターを卒業しました。彼女は米国税務裁判所に就く前にニューヨークでの実務が認められています。



用語集

「#MetaHash」デジタル資産交換の分散型ネットワーク、分散型#MetaAppsの作成および管理のプラットフォームです。

「#MetaHashCoin (#MHC)」#MetaHashネットワークの国際通貨です。

「#TraceChain」自動自己学習型信号ルーティングプロトコルです。

「#TraceChain AI」#TraceChain機械学習プロトコルのアルゴリズムです。

「#MetaGate」一般的なアプリやサービスを#MetaAppアプリに変換する能力を特徴としたオープンソースのインターフェイスです。

「#MetaApps」#TraceChainプロトコルを基にした#MetaHashネットワークの分散型アプリです。

「#MetaAppsノード」ブロックチェーンデータを取り扱い、速度とセキュリティを提供する、#Meta-Appアプリを実行するノードです。

「#MetaChains」すべてのブロックチェーンのウォレット残高を格納する#MetaHashアプリです。

「#MetaTokens」他のブロックチェーンネットワークのデジタル資産をトークン化した結果として作成される#MetaHashデジタル資産です。

「#MetaICO」ユーザーがプログラミング言語の知識なしにスマートコントラクトを作成できる#MetaHashプラットフォームのICOインターフェイスです。

「#MetaStorage」グローバルな#MetaAppsデータベース、また#MetaHash構造の一部です。

「#MetaHash社」#MetaHashプロジェクトの利益を法域において代表するスイスに登記された法人です。

「#MetaDataBase」#MetaAppsのグローバルな分散型データベースです。

「#DataChains」大きなデータベースを格納するために作成された、#MetaHashネットワークのブロックのチェーンです。

「ブロックチェーン相互運用性」分散型ウェブの未来はブロックチェーンネットワークの相互作用と相互統合にあるというコンセプトです。

「DAO」自律分散型組織です。限られた人数の管理者の手中にある集中管理システムを備えない、プロジェクトまたは企業です。

「MultiPOS（マルチ投票プルーフオブステーク）」さまざまな種類のブロックチェーンノードが投票を行う、「プルーフ・オブ・ステーク」原則に基づくシステム保全性確認のハイブリッドアルゴリズムです。

「公開投票」有権者が投票結果にアクセスし、参加ウォレットのIDとその決定を閲覧できることを意味します。

「オープンソースのアプリケーション」どんなユーザーでも、コードにアクセスし、そのコードを使用して、アプリの独自のバージョンを作成したり、現在のバージョンを改善したりできるようになるものです。

「Hash」#TraceChainで使用できるようにデータ体を固定長文字列に変換した結果です。

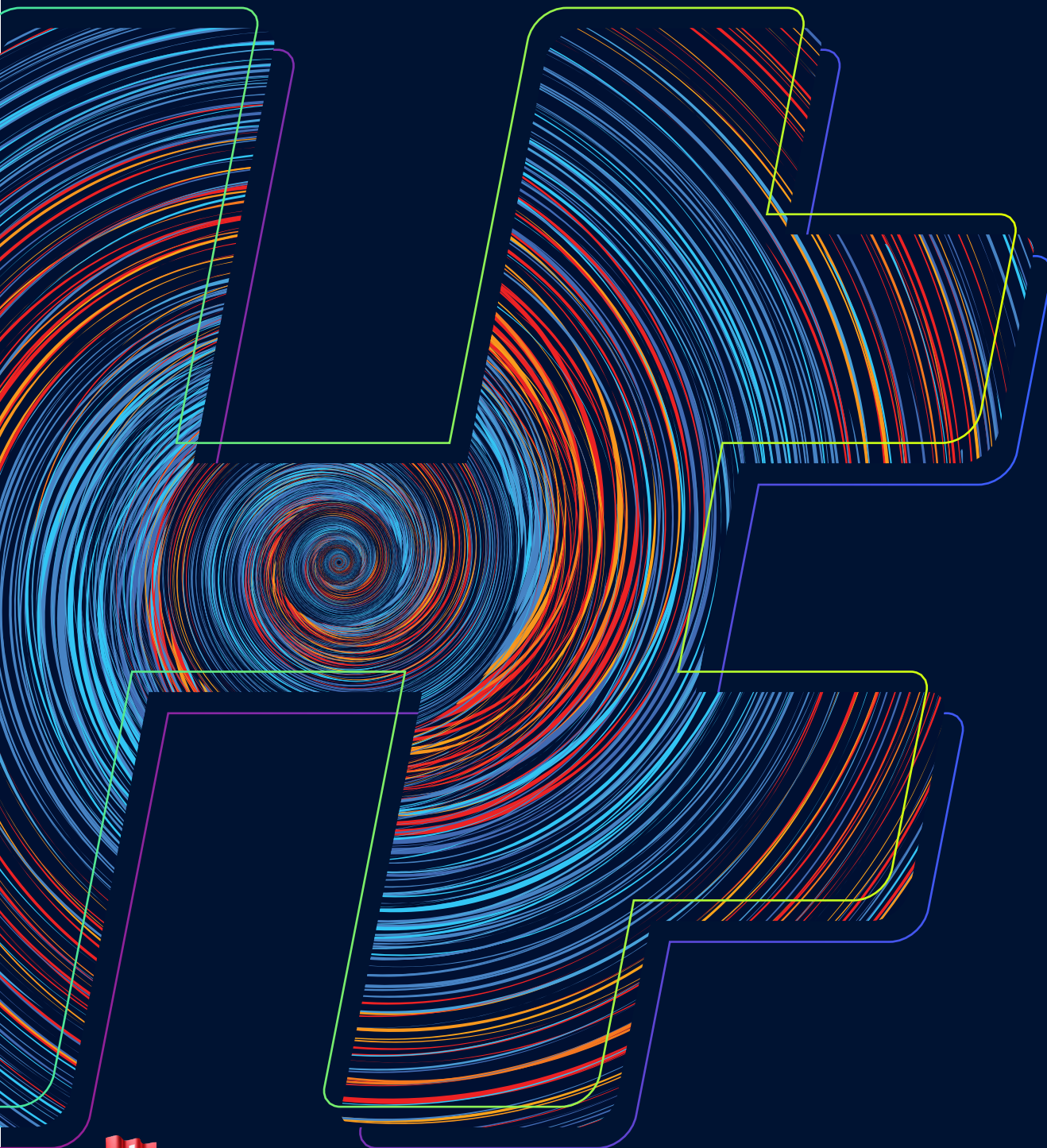
「#MetaHash SmartApp」#MetaHashネットワークの複数のコピーに存在するスタンドアロンアプリで、スマートコントラクトと同様、変更不可能で、通常のオペレーティングシステムに基づく普通のウェブサービスのように機能します。



常に英語バージョンが優先されることをご了承ください
metahash.org/docs/MetaHash_WhitePaper_EN.pdf

#metahash

CONCORDIA RES PARVAE CRESCUNT



MetaHash AG,
Gartenstrasse 6, 6300 Zug
Switzerland

[MetaHash.org](https://metahash.org)

hello@metahash.org